

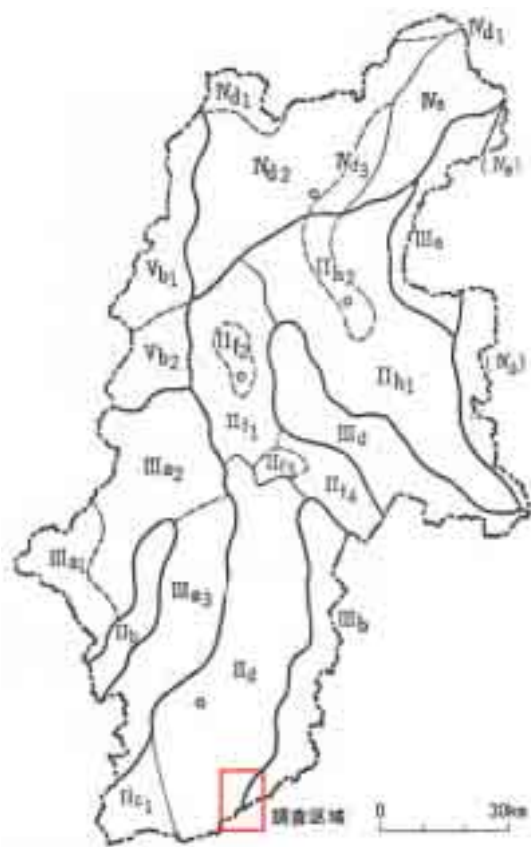
第2節 自然的状況

1. 気象の状況

(1) 気候の地域区分

長野県の気候は、図 2.2.1 に示すように大きくは中央日本山地性気候、中央日本山岳気候、中央日本多雪気候、中央日本の多雪山岳気候の 4 つに区分されます。

調査区域の気候による地域区分は、中央日本山地性気候または中央日本山岳気候です。また、伊那谷の山地性気候の特徴を示す地域は、四季を通じて南風が多く温暖で、赤石山脈の山岳気候の特徴を示す地域は、気温が低く雨が多い地域となっています。



II 中央日本山地性気候	
II b :	木曾谷の気候
II c ₁ :	三河高原の気候
II d :	伊那谷の気候
II f ₁ :	塩尻・大町気候
II f ₂ :	松本盆地の気候
II f ₃ :	諏訪盆地の気候
II f ₄ :	諏訪湖南地域の気候
II h ₁ :	佐久盆地を中心とする山地性気候
II h ₂ :	千曲川沿いの気候
III 中央日本山岳気候	
III a ₁ :	王滝川流域を主とする地域の気候
III a ₂ :	梓川の南につづく山岳地域の気候
III a ₃ :	木曾山脈の山岳の気候
III b :	赤石山脈の山岳の気候
III d :	八ヶ岳・霧ヶ峰を中心とする山岳気候
III e :	北信山岳の気候
IV 中央日本多雪気候	
IV d ₁ :	北陸の豪雪地帯につづく気候
IV d ₂ :	裏日本式の気候 (下水内郡)
IV d ₃ :	信濃川に沿う谷間の気候
IV d :	関東山地の気候
IV e :	裏日本式の気候
V 中央日本の多雪山岳気候	
V b ₁ :	飛騨山脈 (北アルプス) の深雪低音地域の気候
V b ₁ :	北アルプスの多雪地域の気候

図 2.2.1 気候による地域区分 (長野県)

出典：日本地誌第 11 巻長野県・山梨県・静岡県 (日本地誌研究所：平成 2 年)³⁶⁾

(2) 気温、風速、日照時間及び降水量等

調査対象地域内には、南信濃地域気象観測所（準平年値）があり、以下に気温、風速、日照時間及び降水量等について、表 2.2.1 に示します。また、観測所の位置を、図 2.2.2 に示します。

年平均気温は約 12℃であり、夏に降水が多く、冬の積雪は多くない状況です。

表 2.2.1 気象の状況

〈南信濃地域気象観測所 1979（最深積雪 1978）～2000 年までの準平年値〉

気象要素		月												年間
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温 (°C)	平均気温	0.9	1.5	5.6	11.3	16.0	19.8	23.0	24.2	20.4	14.2	8.2	2.7	12.3
	最高気温	6.6	7.8	12.0	18.1	22.4	25.2	28.4	30.1	25.9	20.1	14.4	8.9	18.4
	最低気温	-3.4	-3.3	0.3	5.4	10.5	15.6	19.0	20.0	16.6	10.1	3.7	-1.7	7.7
平均風速 (m/s)		0.9	1.0	1.2	1.3	1.3	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	1.0
日照時間 (合計時間)		139.1	145.3	159.9	170.0	150.8	108.7	125.7	183.9	139.2	150.0	138.9	146.7	1750.6
降水量 (mm)		60.6	68.8	145.4	146.0	171.2	248.5	212.7	195.8	267.8	143.3	99.4	49.7	1809.2
最深積雪 (cm)		5	11	3	0	—	—	—	—	—	—	—	3	4.4

注 1) 南信濃地域気象観測所の準平年値、海拔 410m

注 2) —は、該当のないものです。

注 3) 表中の値は統計値であるため、年間値は各月の平均や合計と一致しないものがあります。

備考：平年値とは、西暦年の 1 位が 1 の年から数えて、連続する 30 年について算出した累積平均値のことをいう。30 年に満たない資料について算出した累積平均値は、その資料年数が 24 年以上の場合は「平年値」とする。資料年数が 8 年以上 23 年以下の場合は「準平年値」とよび、平年値に準じて取り扱う(地上気象観測統計指針より)。

出典：アメダス再統計値 2001～2004 年(CD-ROM) (平成 17 年：気象庁)³⁷⁾

2. 水象の状況

(1) 河川及び湖沼

調査区域の河川の状況を、表 2.2.2、図 2.2.3 に示します。

調査区域の全ての河川は、天竜川に流入しています。湖沼はありません。

実施区域は、長野県側では一級河川天竜川水系の小嵐川を横断します。

表 2.2.2 主要な河川一覧表

種別	水系名	番号	河川名	延長(m)
1 級河川	天竜川	1	八重河内川	3,210
		2	梶谷川	7,500
		3	遠山川	34,108
		4	小嵐川	4,900

出典：河川調書（平成 11 年：長野県）³⁸⁾

(2) 地下水等

長野県では、毎年任意に選んだ井戸について地下水の水質測定が行われ、また、既に汚染の判明している地点については継続的な地下水質の調査を実施しています。

調査区域には、継続調査が行われている井戸はありません。

3 . 地象の状況

(1) 地形

調査区域の地形の状況を、図 2.2.4 に示します。

調査区域は、長野と静岡の県境を挟む山地地域に位置しています。西に伊那山脈、東に赤石山脈（南アルプス）が位置し、急峻な山地と狭小な谷とで構成される平坦地の極めて少ない地域です。地形分類では主に大起伏山地にあたり、最も標高の低い部分でも標高 300m を超えています。また、南北に中央構造線が通っています。

実施区域には、大起伏山地や一部崩かい地形が分布しています。

参考：●山地

大起伏山地：日本アルプスと呼ばれる飛騨・木曾・赤石山地をはじめとする起伏量 600m 以上の山地です。

山麓地：山地の縁辺にあつて緩斜面をなす部分で傾斜は一般に 8° ～20° の範囲です。

●低地

中央構造線：断層の大規模なものを一般的に「構造線」と呼びます。中央構造線は、九州の八代から徳島、伊勢をへて諏訪の南を通り、群馬県下仁田、埼玉県寄居町付近でも確認された、連続した 1,000km 以上の大断層です。

出典：土地分類図（地形分類図 長野県）（昭和 49 年：国土庁）³⁹⁾

(2) 地質

調査区域の地質の状況を、図 2.2.5 に示します。

調査区域の地質は、小嵐川を境に東西で性質が異なります。この谷線は、中央構造線の位置とほぼ一致しています。この中央構造線を境に、地質は内帯（中央構造線西側）と外帯（中央構造線東側）に区分されます。

内帯には堅硬な岩盤からなる花崗岩類、ホルンヘルスを主体とする領家帯が存在します。一方外帯はやや複雑な地質分布となっており、一般的には西から順に三波川帯、戸台構造帯、秩父帯、四万十帯の各地質が帯状に分布しています。

実施区域には、主に深成岩である花崗岩質岩石や変成岩であるホルンヘルス、圧砕岩質岩石が分布しています。

●未固結堆積物

礫・砂・泥（氾濫原堆積物）：

主要河川沿いに発達する氾らん原は、自然堤防地帯と低湿地帯（旧河道・後背湿地）に区分されますが、本図では一括して表現してあります。

●固結堆積物

砂岩：

新第三系の砂岩を主とする岩相をあらわしました。砂岩は細粒～粗粒、板状～塊状で一般に堅固です。しばしば礫質砂岩～礫岩をはさむことがあります。なお、赤石山地の中・古生界には含まれる砂岩（硬砂岩）を表示してあります。

泥岩（頁岩・粘板岩）：

新第三系の泥岩優勢の岩相をあらわしました。古第三系と中生界は頁岩ないし粘板岩、古生界は粘板岩ないし千枚岩となっていますが、これらを一括して表示してあります。

珪岩質岩石：

赤石山地の古生層（石炭紀～二畳紀）は珪質岩を多量にともなっています。チャートなど主に古生層をつくっている堆積物です。

石灰岩：

古・中生層にレンズ状に挟在する石灰岩です。赤石山地の古生層からなる小渋帯には、厚さ 400～600m の厚い石灰岩が連続的にみられるのが特長です。南にうすくなって、しばしば珪質岩や粘板岩と互層します。

●深成岩

斑岩：

石英斑岩ないし花崗斑岩状岩石です。岩脈・小岩株をなして産します。産状によって 13 の岩脈群に分類されていますが、これらは中生代後期の火山活動によるものと考えられます。貫入時期は漸新世以降である。

花崗岩質岩石：

花崗岩、花崗閃緑岩、閃緑岩を一括しました。領家花崗岩類は濃飛流紋岩以後の新时期花崗岩（花崗閃緑岩～花崗岩）とそれ以前の古期花崗岩（石英閃緑岩～花崗閃緑岩）に大別されます。

蛇紋岩質岩石：

古生層を貫き、中生層とは断層で接することが多い。山中部溝帯では、蛇紋岩体にニッケル・クロームがともなわれることがあります。

●変成岩

ホルンヘルス：

古生層が花崗岩類に貫かれている付近では、熱変成作用のためホルンヘルス化しています。領家帯では、花崗岩にかこまれ、ホルンヘルスから、黒雲母片麻岩になっているものが多いです。

緑色片岩：

中央構造線の東側の三波川帯は多くの断層・褶曲により複雑な地質構造をなし、その中の変成岩の岩相もさまざまです。緑色片岩はこの三波川帯に特徴的に分布します。塊状の緑色岩をふくみ、原岩は古生代末の塩基性火成岩類です。

●圧砕岩

圧砕岩質岩石：

中央構造線の北側にそって細長く分布しています。石英閃緑岩質～花崗岩質岩石が、進入しながら、その前面で構造運動にともなう激しい圧砕作用をうけてできたと考えられているミロナイトです。見かけから、ポーフィロイド様岩と細粒珪質のヘレフリンタ様岩にわけられ、どちらも片状構造が著しいです。

出典：土地分類図（表層地質図 長野県）（昭和 49 年：国土庁）⁴⁰⁾

調査区域にはニッケル鉱山跡地があるという情報を聞き取り調査において得ましたが、その正確な位置は旧南信濃村、県、国の資料に記録がありませんでした。九州帝国大学論文集の昭和 13 年の論文に当時の天龍ニッケル鉱山の鉱体位置の概念図が報告されています。

天龍ニッケル鉱山跡地の鉱体の位置を、図 2.2.5 に示します。

鉱体の位置は実施区域の対岸であり、実施区域は天龍ニッケル鉱山跡地を通過しません。

(3) 注目すべき地形・地質

「第1回自然環境保全基礎調査（昭和51年：環境庁）」による優れた、または特異な地質を、表2.2.3、図2.2.6に示します。

調査区域には中央構造線が南北に走り、中央構造線に沿って横ずれ断層などの地形が見られます。中央構造線は、「日本の地形レッドデータブック第2集」（平成14年：日本の地形レッドデータブック作成委員会）による「選定基準②（地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形）」により保存すべき地形として選定されています。

なお、実施区域を含む調査区域には「文化財保護法」（昭和25年：法律第214号）による地形に係る天然記念物はありません。

表 2.2.3 注目すべき地形・地質

種類	番号	名称
すぐれた自然 (地形・地質・自然現象)	1	中央構造線

出典：第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図長野県」（昭和51年：環境庁）⁴¹⁾

日本の地形レッドデータブック第2集 -保存すべき地形-

(平成14年：日本の地形レッドデータブック作成委員会)⁴²⁾

(4) 土壌

調査区域の土壌の状況を、図 2.2.7 に示します。

調査区域の土壌は、褐色森林土壌が広く分布しています。山地部は乾性ポドゾル化土壌や乾性褐色森林土壌が分布し、また河川沿いは主に湿性褐色森林土壌が分布しています。

なお、実施区域周辺には、褐色森林土壌や乾性ポドゾル化土壌、湿性褐色森林土壌、残積性未熟土壌、褐色低地土壌が広がっています。

参考：

●未熟土

残積性未熟土壌：多少に関わらず浸食の影響が見られる (A) C 断面の土壌です。

●褐色森林土

乾性褐色森林土壌：湿潤温帯の森林下に発達し、A (B) C 層位を持っている土壌です。

褐色森林土壌：斜面下部や広い緩斜地など、常に地中に水分を富む環境下に現れる褐色森林土です。

湿性褐色森林土壌：斜面下部の緩斜面や谷底の平坦地、台地上の凹部など水分が集まりやすい環境下に現れる褐色森林土です。

●ポドゾル

乾性ポドゾル化土壌：湿潤寒冷気候の森林下に生成される土壌です。A・B・C 層位を有し、厚い蓄積腐植、鉄及びアルミニウムの溶脱された A 層と鉄や腐植の集積した B 層をもちます。

●赤黄色土

黄色土壌：丘陵地及び台地に分布し、多くは腐植含量が少なく B 層の土色は明度、彩度ともに高く強い黄色です。

●褐色低地土

褐色低地土壌：比較的発達していない (A) 層下に黄褐色の中粒～細粒の (B) 層を持つ土壌です。

●灰色低地土

灰色低地土壌：作土下の土性が中粒質の土壌です。グライ土層は地表面下 50cm 以内には出現しません。ほとんどが水田として利用されています。

出典：土地分類図（土壌図 長野県）（昭和 49 年国土庁）⁴³⁾

(5) 災害履歴等

過去の地すべり、崩壊、洪水等の発生状況については、長野県のホームページ（平成 19 年：長野県危機管理・危機管理消防防災課 <http://www.pref.nagano.jp/kikikan/higai/h18/18higai.pdf>）によると、平成 18 年は 44 件の災害報告がありました。

このうち調査対象地域（飯田市、下伊那郡天龍村）では、豪雨などにより公共土木施設被害が発生しています。

飯田市南信濃の近年の大きな災害としては、昭和 36 年に梅雨前線集中豪雨により全壊家屋 12 戸、流出家屋 5 戸の被害が、昭和 40 年に台風 24 号により全半壊家屋 44 戸、流出家屋 11 戸の被害が、昭和 43 年には台風 10 号により、全半壊家屋 12 戸の被害が発生しています。

4 . 動植物の状況

(1) 植物の生育状況

調査対象地域の植物相、植生の情報を、表 2.2.4 (1) ~ (2 2)、表 2.2.5 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、152 科 1,300 種の植物の生育情報があり、このうち 79 科 284 種の注目すべき種が確認されています。

調査対象地域の植物相は、当地域には南方より入った暖地性の植物、例えば、ツバキ、カシなどが多く見られる地域です。逆に、伊那山脈、赤石山脈などには寒地性の植物であるシラカンバも分布しています。これらの植物は、高所より山を伝って下り、比較的低い山地にも見られます。例えば、熊伏山の海拔 800m あたりにシラカンバの自生が見られたり、小嵐 (海拔 970m) 付近でミヤマシキミなどの群落が見られたりします。平坦地が少ないため、狭い土地に低地の植物と高地の植物が混在しているのも特徴です。

調査対象地域の植生は、一部のカラマツ植林等を除き、山地斜面の大部分が広葉樹林及びスギ・ヒノキ・サワラ植林地で覆われており、広葉樹林は、クリーミズナラ群落やカスミザクラ・コナラ群落により構成されています。これらの林は、比較的標高が高く人間が近寄れない場所を除いて、何らかの形で過去に人の手が入った二次林であると考えられます。八重河内川沿いや遠山川沿いには、常緑広葉樹であるアラカシ群落が所々に分布しており、アラカシ群落の分布も調査対象地域の植生を特徴づけています。

表 2.2.4 (1) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ヒカゲノカズラ	ミヤマヒカゲノカズラ				○							
	タカネスギカズラ					○						
	アスヒカズラ	○								情報	希少	
	スギラン	○						I B			希少	
	タカネヒカゲノカズラ	○				○						
	コスギラン	○				○				情報		
イワヒバ	エゾヒメクラマゴケ	○				○						
	カタヒバ		○									
	タチクラマゴケ			○								
トクサ	イワヒバ	○	○			○						
	スギナ		○	○								
	トクサ					○						
ハナヤスリ	イヌドクサ			○		○						
	オオハナワラビ				○							
	ヒメハナワラビ				○	○		II類		準絶滅	希少	
ハナヤスリ	ヤマハナワラビ	○										
	フユノハナワラビ	○				○						
	アズサハナワラビ	○										注1
	ナツノハナワラビ	○										
ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ			○		○						
	ゼンマイ	○				○						
	ヤシャゼンマイ			○								
ウラジロ	コシダ			○								
	ウラジロ		○	○								
フサシダ	カニクサ	○				○						
コケシノブ	アオホラゴケ	○										
	ウチワゴケ			○								
	コウヤコケシノブ	○		○								
	ハイホラゴケ	○		○	○							
	チチブホラゴケ	○									希少	
	キヨスミコケシノブ				○							
コバノイシカグマ	オオレンシダ			○								
	ワラビ			○		○						
ホングウシダ	ホラシノブ			○	○							
シノブ	シノブ	○				○						
ミズワラビ	ハコネシダ	○	○	○		○						
	クジャクシダ		○	○								
	イヌイワガネソウ	○								希雑		
	ヤツガタケシノブ					○				I B	希少	
	タチシノブ	○	○									
シシラン	シシラン	○			○							
イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○	○									
	オオバノハチジョウシダ				○							
	イノモトソウ		○	○		○						
	マツザカシダ				○							
チャセンシダ	トラノオシダ			○								
	ヌリトラノオ			○	○							
	トキワトラノオ			○	○							
	オクタマシダ				○	○				I B		
	クモノスシダ	○				○						
	コバノヒノキシダ		○	○		○						
	チャセンシダ	○										
	イヌチャセンシダ				○							
	イワトラノオ	○	○			○						
オシダ	オオカナワラビ			○	○							
	ナンタイシダ	○				○						
	シノブカグマ					○						
	ハカタシダ		○									
	オニカナワラビ	○		○								
	キヨスミヒメワラビ				○	○				II類		

表 2.2.4 (2) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
オシダ	ヤブソテツ		○	○		○						
	ヤマヤブソテツ	○										
	ヒロハヤブソテツ					○					希少	
	シラネワラビ			○		○						
	ミサキカグマ					○						
	カラフトメンマ					○					希少	
	オシダ			○		○						
	ベニシダ		○	○								
	トウゴクシダ	○										
	サクライカグマ					○						
	オオベニシダ	○										
	キノクニベニシダ					○						
	エンシュウベニシダ					○						注1
	ミヤマクマワラビ			○		○						
	タニヘゴ			○							希少	
	オクマワラビ			○								
	イワイタチシダ	○										
	ヤマイタチシダ		○									
	チャボイノデ					○	○					
	イナデンダ	○						準絶滅			希少	
	カタイノデ					○						
	ツヤナシイノデ						○					
	イノデ		○	○								
	サカゲイノデ	○										
	オニイノデ					○					希少	
	ヒメカナワラビ					○	○			I B		
	オオキヨズミシダ					○						
ヒメシダ	ホシダ			○		○						
	ゲジゲジシダ			○								
	ミゾシダ	○										
	ヨコグラヒメワラビ			○								
	ヤワラシダ	○										
	ヒメシダ			○								
メシダ	ヒメワラビ	○	○									
	ミヤマメシダ					○						
	ヌリワラビ	○										
	イヌワラビ			○		○						
	タカネサトメシダ					○						
	ミヤマヘビノネゴザ	○				○						
	タカネヘビノネゴザ	○										
	ヘビノネゴザ			○		○						
	イッポンワラビ	○										
	ホソバシケシダ					○						
	オオヒメワラビ	○										
	オオメシダ	○										
	ウスバミヤマノコギリシダ					○					希少	
	キヨタキシダ						○					
	ヘラシダ					○						
	ノコギリシダ			○						情報		
	ウサギシダ	○										
	エビラシダ	○				○						
	イワウサギシダ	○									希少	
	クサソテツ		○	○		○						
	コウヤワラビ			○								
トガクシデンダ					○							
フクロシダ		○			○							
イワデンダ			○		○							
ウラボシ	ミツデウラボシ					○						
	クラガリシダ				○	○	I B		II類	希少		
	マメツタ		○	○		○						

表 2.2.4 (3) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ウラボシ	ホテイシダ	○											
	ウロコノキシノブ		○	○	○	○		I A	特別	I A			
	ヒメノキシノブ		○			○							
	ノキシノブ			○		○							
	ナガオノキシノブ					○							
	ミヤマノキシノブ					○							
	サジラン	○	○	○		○							
	イワヤナギシダ			○									
	クリハラシダ			○	○					I A			
	オシャグジデンド		○			○							
	アオネカズラ			○	○					I A	希少		
	ピロードシダ	○				○							
	ヒトツバ		○	○									
	イワオモダカ	○				○				II類			
ヒメウラボシ	オオクボシダ	○			○	○				準絶滅			
サンショウモ	サンショウモ				○		II類		II類	希少			
イチョウ	イチョウ					○							
マツ	モミ	○		○		○							
	ウラジロモミ			○		○							
	オオシラビソ					○							
	シラビソ					○							
	カラマツ					○							
	イラモミ				○					準絶滅			
	シラネマツハダ					○							
	トウヒ			○		○							
	アズサバラモミ					○				I A			
	ハリモミ					○							
	ヒメマツハダ					○				II類			
	アカマツ		○	○		○							
	チョウセンゴヨウ					○							
	ヒメコマツ			○		○							
	ゴヨウマツ					○							
	ハイマツ					○							
	クロマツ					○							
	コメツガ			○		○							
ツガ		○	○		○								
スギ	スギ	○				○							
ヒノキ	ヒノキ	○				○							
	サワラ			○		○							
	ネズ			○									
	ホンドミヤマネズ					○							
	クロベ					○							
イヌガヤ	ハイイヌガヤ			○									
イチイ	イチイ					○							
	カヤ		○			○							
クルミ	オニグルミ		○			○							
	サワグルミ			○		○							
ヤナギ	サイコクキツネヤナギ			○		○							
	バッコヤナギ		○	○		○							
	オオネコヤナギ			○									
	カワヤナギ			○									
	ネコヤナギ		○	○									
	イヌコリヤナギ			○		○							
	シバヤナギ			○		○							
	レンゲイワヤナギ			○		○							
	コマイワヤナギ			○	○			II類		準絶滅	希少		
	オノエヤナギ		○	○									
コゴメヤナギ			○		○								
タチヤナギ					○								
カバノキ	ヤシヤブシ	○	○										

表 2.2.4 (4) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
カバノキ	ヤマハンノキ			○								
	ミヤマハンノキ					○						
	カワラハンノキ				○					II類		
	ダケカンバ			○		○						
	ミズメ			○								
	シラカンバ		○	○		○						
	オノオレカンバ					○						
	サワシバ			○		○						
	アカシデ		○	○		○						
	イヌシデ					○						
	ツノハシバミ		○			○						
	アサダ		○			○						
ブナ	クリ		○	○		○						
	ツブラジイ			○								
	ブナ			○		○						
	イヌブナ			○		○						
	アカガシ			○	○	○				I A		
	アラカシ		○	○		○						
	ミズナラ			○		○						
	シラカシ			○		○						
	ウラジロガシ	○	○	○		○						
	コナラ			○		○						
	ツクバネガシ			○								
	アベマキ		○	○								
ニレ	ムクノキ			○	○					I B		
	エノキ		○	○								
	オヒョウ			○								
	ケヤキ		○	○		○						
クワ	ヒメコウゾ		○									
	コウゾ					○						
	イタビカズラ			○								
	カナムグラ		○									
	ヤマグラ		○									
	ホソバヤマグラ	○										注1
イラクサ	メヤブマオ	○										
	コアカソ			○								
	コバノコアカソ			○								注1
	アカソ		○									
	ヒメウワバミソウ				○					II類		
	ウワバミソウ			○								
	ムカゴイラクサ		○	○		○						
	カテンソウ	○										
	ミズ			○								
	アオミズ	○										
イラクサ	○											
ヤドリギ	マツグミ				○	○				準絶滅		
	ヤドリギ					○						
ツチトリモチ				○	○		II類		準絶滅	希少		
タデ	オンタデ					○						
	ミズヒキ			○		○						
	シンミズヒキ			○								
	イブキトラノオ					○						
	ハルトトラノオ		○		○	○				準絶滅		
	ムカゴトラノオ					○						
	ソバカズラ	○										
	オオツルイタドリ	○				○						
	コウヤイタドリ					○						注1
	ヤノネグサ			○								
	アキノウナギツカミ			○								
ミチヤナギ			○									

表 2.2.4 (5) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
タデ	イタドリ			○								
	フジイタドリ					○						
	スイバ		○	○								
	タカネスイバ					○						
	ノダイオウ				○			II類		準絶滅		
ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ		○									
	マルミノヤマゴボウ	○			○	○				II類		
ザクロソウ	ザクロソウ		○			○						
	クルマバザクロソウ		○									
スベリヒユ	スベリヒユ		○	○		○						
ナデシコ	ノミノツツリ			○								
	ミミナグサ			○								
	タガソデソウ				○			II類		準絶滅		
	ミヤマミミナグサ					○						
	シナノナデシコ	○		○		○						
	エゾカワラナデシコ	○										
	カワラナデシコ		○									
	タカネナデシコ					○						
	フシグロセンノウ		○			○						
	タカネツメクサ					○						
	ミヤマツメクサ					○						希少
	ホソバツメクサ					○						
	オオビランジ				○	○		II類		II類	希少	
	タカネビランジ				○	○				II類		
	ビランジ				○					I B		
	シロバナビランジ	○										
	ノミノフスマ			○								
	ウシハコベ			○								
	コハコベ					○						
	ミドリハコベ			○								
	イワツメクサ					○						
	シコタンハコベ				○	○		II類		準絶滅	希少	
	ミヤマハコベ		○			○						
サボンソウ					○							
アカザ	シロザ			○								
	アカザ			○								
	イワアカザ	○										
	カワラアカザ			○								
ヒユ	ヒカゲイノコズチ		○									
	ヒナタイノコズチ	○										
	イヌビユ			○		○						
モクレン	ホオノキ					○						
	コブシ		○			○						
	タムシバ			○		○						
マツブサ	サネカズラ		○	○	○					II類		
	マツブサ		○									
シキミ	シキミ	○	○	○		○						
クスノキ	カゴノキ			○						絶滅		
	ヤブニッケイ				○					I A		
	ヤマコウバシ					○						
	ダンコウバイ		○	○		○						
	クロモジ		○	○		○						
	イヌガシ			○								
	シロダモ			○						情報		
	アブラチャン		○	○		○						
	シロモジ			○							希少	
フサザクラ	フサザクラ		○	○								
カツラ	カツラ		○	○		○						
	ヒロハカツラ					○						
キンボウゲ	カワチブシ			○								
	キタダケトリカブト					○		I B				

表 2.2.4 (6) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
キンポウゲ	キタザワブシ					○		II類		II類		
	ホソバトリカブト					○						
	トリカブト					○						注1
	ルイヨウショウマ					○						
	ミチノクフクジュソウ				○			II類		準絶滅		
	フクジュソウ				○			II類		準絶滅	希少	
	ヒメイチゲ					○						
	ニリンソウ		○	○		○						
	ミスミソウ		○		○	○		準絶滅		I B	希少	
	ハクサンイチゲ					○						
	キクザキイチゲ		○								希少	
	サンリンソウ					○						
	レンゲショウマ	○	○	○		○						
	オオヤマオダマキ	○										
	ミヤマオダマキ					○						
	オオバショウマ					○						
	イヌショウマ	○										
	サラシナショウマ			○								
	ミヤマハンショウヅル	○				○						
	ボタンヅル		○			○						
	ハンショウヅル					○						
	クサボタン			○								
	トリガタハンショウヅル					○						
	ウスギオウレン			○								
	バイカオウレン			○		○						
	ミツバオウレン					○						
	ツルシロカネソウ	○			○					I A		
	トウゴクサバノオ				○					I B		
	ミヤマキンポウゲ					○						
	ウマノアシガタ		○			○						
タガラシ			○									
キツネノボタン					○							
ヒメカラマツ				○	○				II類	希少		
ミヤマカラマツ				○	○							
アキカラマツ			○									
モミジカラマツ					○							
シナノキンバイ					○							
メギ	メギ			○								
	オオバメギ				○					準絶滅		
	ルイヨウボタン	○										
	キバナイカリソウ		○	○		○						
ナンテン	○											
アケビ	アケビ			○								
ツツラフジ	ツツラフジ			○								
スイレン	ジュンサイ				○				準絶滅	希少		
ドクダミ	ドクダミ		○	○								
センリョウ	ヒトリシズカ					○						
	フタリシズカ		○			○						
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ				○					II類		
	フタバアオイ		○			○						
	ウスバサイシン					○					希少	
	ヒメカンアオイ		○	○	○					準絶滅		
ボタン	ヤマシャクヤク	○			○	○		II類	指定	II類	希少	
	ベニバナヤマシャクヤク				○			I B	指定	I A	希少	
マタタビ	マタタビ		○	○								
ツバキ	ヤブツバキ		○	○		○						
	サカキ	○	○	○								
	ヒサカキ	○	○	○								
	ヒメシャラ				○	○				I A		
	ナツツバキ	○		○		○						

表 2.2.4 (7) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツバキ	チャノキ		○									
オトギリソウ	アカテンオトギリ					○					準絶滅	
	シナノオトギリ					○						
	コケオトギリ			○								
モウセンゴケ	モウセンゴケ			○								
ケシ	クサノオウ			○								
	ムラサキケマン		○									
	ヤマエンゴサク	○	○			○						
	ヒメエンゴサク		○									
	フウロケマン	○				○						
	ナガミノツルキケマン				○			準絶滅		準絶滅		
	タケニグサ		○	○		○						
	オサバグサ					○						
	アブラナ	エゾハタザオ	○				○					
イワハタザオ						○						
ウメハタザオ						○						
ヤマガラシ						○						
ハルザキヤマガラシ			○									
ケナシクモマナズナ		○										注1
ナズナ			○	○		○						
ミツバコンロンソウ						○				I A		
ヒロハコンロンソウ			○			○						注1
ケジャンジン		○										注1
タネツケバナ			○	○		○						
ミヤマタネツケバナ						○						
ヤマタネツケバナ				○								
マルバコンロンソウ			○									
イヌナズナ			○	○		○						
クモマナズナ					○	○		II類		準絶滅		希少
ワサビ			○			○						
ユリワサビ				○								
ミチバタガラシ						○				情報		
スカシタゴボウ						○						
マンサク	キリシマミズキ				○			II類		II類		
	コウヤミズキ			○		○					希少	
	マンサク					○						
ベンケイソウ	ベンケイソウ	○										
	アオベンケイ					○				I B		
	ツメレンゲ	○			○	○		準絶滅		準絶滅		希少
	イワベンケイ					○						
	キリンソウ		○			○						
	ミヤママンネングサ					○						
	マルバマンネングサ					○				I A		
ヒメレンゲ		○	○									
ユキノシタ	チダケサシ		○	○								
	アラシグサ					○						
	クサアジサイ			○								
	キバナハナネコノメ			○	○			準絶滅		I A		希少
	ハナネコノメ				○					I A		
	イワネコノメソウ		○									
	ネコノメソウ		○									
	ヤマネコノメソウ		○									
	チシマネコノメ	○										希少
	ニッコウネコノメソウ		○			○						注1
	コガネネコノメソウ		○									
	タチネコノメソウ			○	○	○				II類		
	ギンバイソウ		○	○		○						
	ウツギ			○		○						
	ヒメウツギ		○	○								
ウラジロウツギ	○											

表 2.2.4 (8) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ユキノシタ	コアジサイ			○		○							
	タマアジサイ		○	○									
	ヤマアジサイ					○							
	ノリウツギ			○									
	ガクウツギ		○			○							
	ミカワチャルメルソウ		○	○		○						希少	
	コチャルメルソウ		○										
	エゾウメバチソウ					○							
	ウメバチソウ			○									
	ヤワタソウ	○											
	バイカウツギ		○	○		○							
	ヤシヤビシヤク					○		Ⅱ類		Ⅱ類		希少	
	ヤグルマソウ		○	○									
	ムカゴユキノシタ					○				I A		希少	
	シコタンソウ					○							
	カエデダイモンジソウ	○											注1
	ジンジソウ		○		○	○				準絶滅			
	ミヤマダイモンジソウ					○							
	ダイモンジソウ		○										
	ウチワダイモンジソウ	○		○		○							
	クモマグサ				○					I B			
	ユキノシタ		○										
イワユキノシタ	○												
ズダヤクシュ					○								
バラ	チョウセンキンミズヒキ				○			Ⅱ類		準絶滅			
	ヤマブキシヨウマ					○							
	チョウノスケソウ					○							
	ヘビイチゴ		○										
	ヤブヘビイチゴ		○										
	ミヤマダイコンソウ					○							
	ダイコンソウ		○			○							
	チングルマ	○				○							
	ヤマブキ			○									
	エゾノコリンゴ		○										
	ズミ		○	○									
	キジムシロ		○	○		○							
	ミツバツチグリ		○										
	ハクロバイ					○		Ⅱ類		I B			
	ミヤマキンバイ	○				○							
	ウラジロキンバイ	○				○		Ⅱ類		Ⅱ類		希少	
	ツルキジムシロ					○							
	エチゴキジムシロ			○									
	ツルキンバイ					○							
	ミヤマチョウジザクラ					○						注1	
	ウワミズザクラ		○			○							
	キンキマメザクラ					○							
	ヤマザクラ		○										
	ウスゲヤマザクラ	○											
	ミヤマザクラ					○							
	ミネザクラ					○							
	ソメイヨシノ					○							
	エドヒガン		○			○							
	モモ	○											
	オオヤマザクラ					○						注1	
	リンボク			○	○					I B			
	カスミザクラ		○	○		○							
	ヤマナシ		○										
モリイバラ					○								
ノイバラ			○		○								
タガネバラ	○				○						注1		

表 2.2.4 (9) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
バラ	ニオイイバラ	○										
	ミヤコイバラ			○								
	クマイチゴ			○								
	ミヤマフユイチゴ			○								
	ニガイチゴ			○								
	サナギイチゴ	○				○						
	モミジイチゴ		○	○								
	ナワシロイチゴ			○								
	コガネイチゴ					○						
	ミヤマモミジイチゴ				○	○				準絶滅		
	コジキイチゴ	○			○	○				I B		
	ワレモコウ		○	○								
	タテヤマキンバイ				○	○				準絶滅		
	ナナカマド					○						
	ウラジロナナカマド					○						
	タカネナナカマド					○						
	ミヤマナナカマド					○						
	シモツケ		○			○						
	ユキヤナギ		○	○		○						
	マメ	ネムノキ		○	○		○					
イタチハギ						○						
ウスバヤブマメ		○										注1
ヤブマメ				○								
タイツリオウギ						○						
モメンヅル		○			○					準絶滅	希少	
フジキ		○										
ユクノキ		○										
タヌキマメ					○				指定	I A		
フジカンゾウ		○										
イワオウギ						○						
コマツナギ			○	○		○						
マルバヤハズソウ		○				○						
ヤハズソウ			○	○								
イタチササゲ		○										
ヤマハギ			○	○								
キハギ			○									
メドハギ				○								
マルバハギ				○								
ネコハギ			○									
イヌハギ					○	○		II類		準絶滅	希少	
イヌエンジュ		○										
オヤマノエンドウ						○						
クズ				○		○						
オオバタンキリマメ			○			○						
ハリエンジュ				○								
クララ		○										
ムラサキツメクサ			○			○						
ツルフジバカマ			○									
ミヤマタニワタシ		○			○	○				準絶滅		
クサフジ						○					希少	
スズメノエンドウ			○									
フジ			○	○								
カタバミ	コミヤマカタバミ					○						
	カタバミ			○								
フウロソウ	エゾタチカタバミ	○										
	オオヤマカタバミ				○	○		II類	準絶滅			
	アメリカフウロ					○						
	タカネグンナイフウロ					○						
フウロソウ	イヨフウロ	○			○					I A		
	ゲンノショウコ			○								

表 2.2.4 (10) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
フウロソウ	コフウロ	○			○					I B		
	ミツバフウロ	○										
	イブキフウロ					○						
	ハクサンフウロ					○						
トウダイグサ	エノキグサ		○									
	トウダイグサ					○						
	オオニシキソウ	○										
	ニシキソウ				○					II類		
	アカメガシワ	○	○	○								
	シラキ		○									
ユズリハ	ユズリハ		○	○	○	○				準絶滅		
	エゾユズリハ			○								
ミカン	マツカゼソウ	○				○						
	オオバノキハダ	○										
	ミヤマキハダ	○										
	ミヤマシキミ			○								
	ツルシキミ			○								
	カラスザンショウ	○	○	○								
	イヌザンショウ		○									
ヒメハギ	ヒナノキンチャク				○			I B		I A	希少	
ウルシ	ツタウルシ			○								
	ヌルデ		○	○		○						
	ヤマハゼ		○	○								
	ヤマウルシ		○	○		○						
カエデ	アサノハカエデ			○								
	ホソエカエデ			○								
	チドリノキ					○						
	カジカエデ	○										
	ヒトツバカエデ					○						
	カラコギカエデ	○										
	ハウチワカエデ			○		○						
	コミネカエデ			○		○						
	イタヤカエデ			○								
	エンコウカエデ					○						
	オニイタヤ					○						
	メグスリノキ	○	○			○						
	テツカエデ	○		○								
	イロハモミジ		○	○		○						
	オオモミジ		○			○						
	ハナノキ					○		II類		II類		
	ウリハダカエデ					○						
	オオイタヤメイゲツ			○		○						
コハウチワカエデ			○		○						注1	
オガラバナ					○							
トチノキ	トチノキ		○			○						
アワブキ	アワブキ			○								
	ミヤマハハソ	○				○						
ツリフネソウ	キツリフネ		○	○								
	ツリフネソウ		○	○								
モチノキ	イヌツゲ			○								
	ハイイヌツゲ			○								
	アオハダ			○								
	ソヨゴ			○		○						
	ホソバツルツゲ					○						
ニシキギ	イワウメヅル	○				○					希少	
	ツルウメモドキ		○			○						
	ニシキギ		○									
	サワダツ			○								
	ツリバナ		○	○								
	クロツリバナ	○										

表 2.2.4 (11) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ミツバウツギ	ミツバウツギ			○								
ツゲ	フッキソウ	○										希少
クロウメモドキ	ヨコグラノキ					○				I B		希少
	ミヤマクマヤナギ	○			○	○				準絶滅		
	クマヤナギ			○								
	ケケンボナシ		○									
	クロカンバ	○										
ブドウ	ノブドウ		○	○								
	ヤブガラシ			○								
	ツタ		○									
	ヤマブドウ					○						
シナノキ	カラスノゴマ	○										
	シナノキ			○								
グミ	ツルグミ			○								
	マメグミ			○								
	ニッコウナツグミ					○						注1
	イイギリ	イイギリ		○	○							
スミレ	キバナノコマノツメ					○						
	アカシキバナノコマノツメ					○						
	ナガバノスミレサイシン			○		○						
	ウスバスミレ	○										
	ヒメミヤマスミレ					○				I B		
	トウカイスミレ					○						注1
	エイザンスミレ	○				○						
	ケイリュウタチツボスミレ					○						注1
	タチツボスミレ		○	○		○						
	アオイスミレ					○						
	コスミレ					○						
	スミレ					○						
	アカネスミレ		○			○						
	フモトスミレ					○						
	アケボノスミレ					○						
	シコクスミレ			○								
	ヒナスミレ					○						
	スミレサイシン			○								
	ツボスミレ		○									
	アギスミレ			○								
ノジスミレ					○							
キブシ	キブシ			○		○						
ミゾハコベ	ミゾハコベ					○						
シュウカイドウ	シュウカイドウ		○									
ウリ	ゴキツル			○								
	アマチャヅル	○										
	アレチウリ			○								
ミソハギ	ヒメミソハギ					○				情報		
	キカシグサ			○		○						
アカバナ	ミズキカシグサ					○			I B	情報	希少	
	ミズマツバ					○			II類	II類	希少	
	ミヤマタニタデ					○						
	ケミヤマタニタデ					○						注1
	ウシタキソウ	○										
	タニタデ					○						
	ケゴンアカバナ		○			○						
	ヒメアカバナ	○										
	トダイアカバナ					○			II類	II類		
	ミヤマアカバナ					○						
アカバナ			○									
シロウマアカバナ				○					準絶滅			
チョウジタデ			○		○							
メマツヨイグサ			○		○							

表 2.2.4 (12) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
アカバナ	オオマツヨイグサ			○		○						
アリノトウグサ	アリノトウグサ			○								
ウリノキ	ウリノキ			○								
ミズキ	アオキ			○								
	ヒメアオキ			○								
	ヤマボウシ	○	○									
	ゴゼンタチバナ					○						
	ミズキ		○	○		○						
	クマノミズキ					○						
ウコギ	ウラジロウコギ	○										
	ミヤマウコギ					○						
	ウド		○	○								
	タラノキ		○									
	ミヤマウド	○										
	キツタ			○								
	ハリギリ			○								
	トチバニンジン					○						
セリ	アマニュウ	○										
	イワニンジン					○				I A		
	ハナビゼリ	○										
	シラネセンキュウ	○										
	シシウド		○	○								
	ミヤマシシウド	○				○						
	ホタルサイコ	○										
	ハクサンサイコ	○				○						
	セントウソウ	○										
	ドクゼリ			○							希少	
	ミヤマゼンコ	○				○						注1
	ミヤマセンキュウ	○				○						
	ホソバハナウド	○				○		I B		I B	希少	
	オオバチドメ				○					I B		
	セリ			○								
	ハクサンボウフウ	○				○						
	オオカサモチ					○						
	イワセントウソウ	○				○						
	イブキボウフウ	○										
	タカネイブキボウフウ					○						
ムカゴニンジン			○									
ミヤマウイキョウ				○					I A			
ヤブジラミ			○									
イワウメ	イワウメ					○						
	ヒメイワカガミ					○						
	イワカガミ					○						
	コイワカガミ					○						
リョウブ	リョウブ		○	○								
イチヤクソウ	ギンリョウソウ		○			○						
	コバノイチヤクソウ					○						
	ベニバナイチヤクソウ			○								
	イチヤクソウ			○								
	ジンヨウイチヤクソウ					○						
	コメバツガザクラ					○						
ツツジ	ウラシマツツジ					○						
	イワヒゲ					○						
	サラサドウダン					○						
	ベニドウダン			○		○						
	ミネズオウ					○						
	ネジキ			○		○						
	ウスギヨウラク			○		○						
	コヨウラクツツジ					○						
	アオノツガザクラ					○						

表 2.2.4 (13) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツツジ	ツガザクラ					○						
	アセビ		○	○								
	キバナシヤクナゲ					○						
	ハクサンシヤクナゲ					○						
	キョウマルシヤクナゲ				○			I B		準絶滅	希少	
	ミツバツツジ		○	○		○						
	サツキ			○		○						
	レンゲツツジ			○								
	ヒカゲツツジ		○	○		○						
	モチツツジ		○	○		○						
	ダイセンミツバツツジ				○					準絶滅		
	ヤマツツジ		○	○		○						
	アカヤシオ				○	○				準絶滅		
	シロヤシオ	○			○	○				I B		
	コバノミツバツツジ		○	○								
	バイカツツジ					○						
	チョウジコメツツジ					○						
	トウゴクミツバツツジ			○		○						
	ミヤマホツツジ					○						
	アクシバ			○								
	クロウスゴ					○						
	オオバスノキ					○						
	スノキ			○								
クロマメノキ					○							
コケモモ					○							
ガンコウラン	ガンコウラン					○						
ヤブコウジ	マンリョウ			○								
	カラタチバナ				○				I A			
サクラソウ	ヤブコウジ			○								
	ミヤマタゴボウ	○										
	オカトラノオ		○			○						
	コナスビ			○								
	クリンソウ		○								希少	
	クモイコザクラ					○		II類	I A		希少	
	サクラソウ				○	○		II類 指定	II類		希少	
シナノコザクラ				○	○		II類 指定	I B		希少		
ツマトリソウ					○							
カキノキ	カキノキ		○									
エゴノキ	エゴノキ			○		○						
	コハクウンボク			○		○						
ハイノキ	タンナサワフタギ			○								
モクセイ	ミヤマアオダモ					○						
	アオダモ			○								
	ヤマトアオダモ	○										
	マルバアオダモ			○								
	シオジ					○						
	ネズミモチ			○								
	イボタノキ	○				○						
ヒイラギ	○		○									
リンドウ	トウヤクリンドウ					○					希少	
	コヒナリンドウ				○	○		I B	I A		希少	
	オヤマリンドウ					○						
	リンドウ					○						
	フデリンドウ		○			○						
	オノエリンドウ				○			I B	準絶滅		希少	
	ホソバツルリンドウ	○			○			I B	準絶滅		希少	
	アケボノソウ			○								
	ミヤマアケボノソウ	○				○						
	テングノコヅチ				○	○		I B	準絶滅			
ツルリンドウ					○							

表 2.2.4 (14) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キョウチクトウ ガガイモ	テイカカズラ			○		○							
	タチガシワ					○					I A		
	スズサイコ				○			II 類		準絶滅	希少		
	コバノカモメヅル				○						I B		
	シロバナカモメヅル				○						II 類		
	コイケマ ガガイモ		○										
アカネ	エゾノヨツバムグラ					○							
	オオバノヨツバムグラ					○							
	ミヤマムグラ					○							
	ヤエムグラ			○									
	オククルマムグラ	○											
	クルマムグラ	○											
	フタバムグラ				○						I A		
ヒルガオ	ヘクソカズラ		○	○		○							
	アメリカネナシカズラ マルバアサガオ					○							
ムラサキ	サワリソウ	○			○	○					準絶滅		
	オニルリソウ		○										
	オオルリソウ	○											
	ミヤマムラサキ					○							
	ヤマルリソウ		○			○							
	タチカメバソウ キュウリグサ		○										
クマツヅラ	ムラサキシキブ		○	○									
	ヤブムラサキ			○									
	カリガネソウ				○						準絶滅	希少	
	クサギ	○	○	○									
シソ	カワミドリ	○											
	シロバナタチキランソウ		○										注1
	タチキランソウ		○	○	○	○		準絶滅		準絶滅	希少		
	クルマバナ		○			○							
	イヌトウバナ					○							
	ヤマトウバナ	○											
	フトボナギナタコウジュ				○						I B		
	カキドオシ			○		○							
	マネキグサ				○			II 類		II 類	希少		
	ホトケノザ			○		○							
	ヤマジオウ		○		○	○					I B		
	ヒメオドリコソウ		○			○							
	メハジキ	○											
	キセワタ	○			○	○		II 類		準絶滅	希少		
	ヒメシロネ			○									
	ラショウモンカズラ					○						希少	
	ハッカ			○									
	ヤマジソ				○			II 類		準絶滅	希少		
	イヌコウジュ	○											
	ウツボグサ			○		○							
	セキヤノアキチョウジ			○									
	アキチョウジ				○						II 類		
	タカクマヒキオコシ				○	○					I B		
	イヌヤマハッカ			○	○						I B		
	ダンドタムラソウ				○						II 類		注1
	コウシンヤマハッカ					○							
	ミヤマタムラソウ					○							注1
キバナアキギリ	○												
ヤマタツナミソウ	○					○							
ミヤマナミキ	○					○							
イヌゴマ		○											
ツルニガクサ		○											

表 2.2.4 (15) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
シソ	イブキジャコウソウ					○						
ナス	アオホオズキ	○				○		Ⅱ類		I A	希少	
	ハシリドコロ		○			○						
	マルバノホロシ	○										
	イヌホオズキ	○										
	ハダカホオズキ					○				Ⅱ類		
フジウツギ	フサフジウツギ		○			○						
	フジウツギ		○			○						
ゴマノハグサ	サワトウガラシ					○				Ⅱ類		
	アブノメ			○						I A		
	ヒメコゴメグサ					○				I A		
	スズメノトウガラシ	○										
	ウリクサ				○	○				Ⅱ類		
	アゼトウガラシ	○										
	アゼナ					○						
	サギゴケ		○									
	トキワハゼ		○									
	シコクママコナ			○								
	ミヤマママコナ	○										
	シロバナミヤマママコナ	○										
	ツシマママコナ				○						準絶滅	
	ママコナ		○									
	スズメハコベ	○						I B		I A	希少	
	ミゾホオズキ		○									
	ミヤマシオガマ					○						
	ヨツバシオガマ					○						
	ハンカイシオガマ				○	○				I A		
	セリバシオガマ					○						
	トモエシオガマ					○						
	タカネシオガマ					○						
	エゾシオガマ					○						
	ヒメトラノオ	○										
	ミヤマクワガタ					○						
	ヒナノウスツボ					○						
	オオヒナノウスツボ		○									
	タチイヌノフグリ		○									
	クワガタソウ					○						
	シナノヒメクワガタ					○						
	ムシクサ					○						
	オオイヌノフグリ		○	○		○						
イヌノフグリ					○	○		Ⅱ類		Ⅱ類	希少	
ノウゼンカズラ	キリ		○									
キツネノマゴ	ハグロソウ				○					Ⅱ類		
イワタバコ	イワタバコ	○	○	○		○						
ハマウツボ	オオナンバンギセル				○					I B		
	オニク				○					準絶滅		
	ケヤマウツボ				○					I B	注1	
	ヤマウツボ					○				I B		
	キヨスミウツボ					○				I B	希少	
タヌキモ	イヌタヌキモ				○				準絶滅	希少		
オオバコ	オオバコ			○								
スイカズラ	ツクバネウツギ					○						
	ベニバナツクバネウツギ			○		○						
	オオツクバネウツギ		○			○						
	チシマヒョウタンボク					○		Ⅱ類		I A	希少	
	スイカズラ		○	○								
	コゴメヒョウタンボク				○			I B		準絶滅	希少	
	ニッコウヒョウタンボク					○				I B	希少	
	ヤマヒョウタンボク	○									希少	
オオヒョウタンボク					○							

表 2.2.4 (16) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
スイカズラ	ニワトコ			○									
	ガマズミ			○		○							
	コバノガマズミ			○									
	オトコヨウゾメ			○									
	ヤブデマリ		○										
	ミヤマシグレ			○									
	ミヤマガマズミ			○		○							
	ニシキウツギ			○		○							
	ヤブウツギ	○		○		○							
	キバナウツギ				○						I B		
オミナエシ	オミナエシ		○	○		○							
	キンレイカ					○							
	オトコエシ		○			○							
	ツルカノコソウ		○		○	○					I B		
マツムシソウ	タカネマツムシソウ					○							
キキョウ	ヒメシャジン					○							
	ソバナ			○									
	イワシャジン	○	○	○	○	○					I A	希少	
	ツリガネニンジン					○							
	チシマギキョウ					○							
	イワギキョウ					○							
	ホタルブクロ					○							
	ヤマホタルブクロ		○	○		○							
	ミゾカクシ					○							
	タニギキョウ					○							
	シデシャジン		○									希少	
	キキョウ			○	○			II類		準絶滅		希少	
	キク	ノコギリソウ			○								
		オクモミジハグマ			○		○						
キッコウハグマ				○									
タカネヤハズハハコ						○							
ヤマハハコ				○		○							
ホソバノヤマハハコ		○											
カワラハハコ				○									
ヤハズハハコ						○							
トダイハハコ		○			○	○		II類		準絶滅			
ウサギギク						○							
カワラヨモギ				○									
ハハコヨモギ					○			II類		I B			
ミヤマオトコヨモギ						○							
ヨモギ				○		○							
タカネヨモギ						○							
チシマヨモギ						○							
ノコンギク				○		○							
アキハギク				○		○							
ゴマナ				○									
タカネコンギク					○	○				準絶滅			
オケラ				○									
アメリカセンダングサ						○							
ホソバノセンダングサ		○											
コセンダングサ						○							
タウコギ		○											
カニコウモリ						○							
ウスゲタマブキ				○									
コウモリソウ				○									
オクヤマコウモリ				○		○							
デバコモミジガサ			○	○		○				準絶滅			
ヤマタイミンガサ				○		○							
ヤブタバコ		○											
コヤブタバコ		○											

表 2.2.4 (17) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キク	バンジンガンクビソウ				○						I A		注1
	トキンソウ		○	○									
	フランスギク		○										
	ホソエノアザミ	○											
	ウラジロカガノアザミ				○						準絶滅		
	ヒダアザミ				○	○		II類			I B		
	ノアザミ			○		○							
	トネアザミ	○											
	フジアザミ					○							
	センジョウアザミ					○							
	スズカアザミ			○									
	ワタムキアザミ		○		○			II類			II類	希少	
	イズハハコ			○				II類			絶滅	希少	
	オオアレチノギク					○							
	ベニバナボロギク					○							
	リュウノウギク			○									
	ワカサハマギク			○				II類					
	イワインチン					○							
	タカサブロウ			○		○							
	ダンドボロギク					○							
	エゾムカシヨモギ					○							
	ヒメムカシヨモギ		○			○							
	ヒヨドリバナ			○									
	ヨツバヒヨドリ					○							
	サワヒヨドリ		○	○									
	ハキダメギク					○							
	ハハコグサ		○	○									
	アキノハハコグサ				○			I B			準絶滅	希少	
	チチコグサモドキ		○										
	イヌキクイモ		○										
	キクイモ					○							
	キツネアザミ		○			○							
	ミヤマコウゾリナ					○							
	オオヂシバリ		○										
	ニガナ		○										
	タカネニガナ					○							
	ノニガナ	○										希少	
	イワニガナ					○							
	ミヤマイワニガナ					○							
	カワラニガナ	○		○		○		II類			II類	希少	
	ユウガギク		○	○									
	ムラサキニガナ				○						II類		
	コオニタビラコ			○		○							
	ヤブタビラコ			○		○							
	ウスユキソウ					○							
	ミネウスユキソウ					○							
	マルバダケブキ					○							
カイトカラコウ					○								
ミヤマヨメナ				○						II類			
ナガバノコウヤボウキ					○								
クルマバハグマ			○										
カシワバハグマ	○												
コウヤボウキ		○			○								
フキ		○			○								
カンチコウゾリナ					○								
コウゾリナ			○										
オオニガナ				○			II類			準絶滅			
シュウブソウ				○						準絶滅			
オオハンゴンソウ		○											
ミヤコアザミ			○										

表 2.2.4 (18) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
キク	ヒメヒゴタイ				○			II類		II類	希少	
	ミヤマヒゴタイ					○						
	タカネヒゴタイ					○						
	キクアザミ	○										
	ハンゴンソウ			○								
	コウリンカ				○			II類		準絶滅	希少	
	オカオグルマ			○								
	キオン					○						
	サワギク					○						
	タカネコウリンカ				○	○		準絶滅		準絶滅	希少	
	ノボロギク		○	○								
	タムラソウ			○								
	セイタカアワダチソウ					○						
	オオアワダチソウ		○									
	アキノキリンソウ			○		○						
	ミヤマアキノキリンソウ					○						
	オニノゲシ					○						
	ヒメジョオン		○	○		○						
	ヤブレガサ					○						
	シロバナタンポポ		○									
	ミヤマタンポポ					○						
	アカミタンポポ					○						
	シナノタンポポ			○		○						注1
	セイヨウタンポポ		○	○		○						
	カントウタンポポ					○				I B		
	ヤツガタケタンポポ					○						
	イガオナモミ			○								
	ヤクシソウ		○									
	オニタビラコ		○	○								
	オモダカ	ヘラオモダカ			○							
サジオモダカ				○					I A			
アギナシ				○			準絶滅		I B	希少		
ウリカワ				○		○			II類			
オモダカ			○		○							
トチカガミ	ヤナギスブタ				○				準絶滅			
ヒルムシロ	ヒルムシロ	○										
	ホソバミズヒキモ				○				準絶滅			
ユリ	ネバリノギラン					○						
	ノギラン			○								
	ノビル			○								
	ヒメニラ					○					希少	
	アサツキ			○								
	ギョウジャニンニク					○						
	シライトソウ				○	○		指定	I A			
	ツバメオモト					○						
	ホウチャクソウ			○								
	チゴユリ		○	○		○						
	カタクリ			○		○					希少	
	クロユリ					○						
	ショウジョウバカマ		○									
	ヤブカンゾウ		○			○						
	ノカンゾウ					○						
	ニッコウキスゲ					○						注1
	イワギボウシ			○								
	ヤマユリ		○	○		○		指定	準絶滅			
	ウバユリ		○			○						
	ササユリ			○	○			指定	準絶滅			
コオニユリ		○	○									
クルマユリ					○							
ヤブラン		○	○									

表 2.2.4 (19) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ユリ	コヤブラン					○					情報		
	チシマアマナ					○							
	マイヅルソウ			○		○							
	ジャノヒゲ	○		○									
	ナガバジャノヒゲ	○											
	オオバジャノヒゲ	○	○	○		○							
	ツクバネソウ					○							
	クルマバツクバネソウ					○							
	ナルコユリ					○							
	ワニグチソウ	○											
	アマドコロ		○	○		○							
	ヤマトユキザサ					○							
	ユキザサ					○							
	ヒロハユキザサ					○							
	サルマメ		○	○									
	サルトリイバラ		○	○									
	タチシオデ		○										
	シオデ			○									
	ヒメタケシマラン						○						
	クロミノヒメタケシマラン						○						注1
	タケシマラン			○			○						
	チシマゼキショウ						○						
	ヤマジノホトトギス		○										
	イワホトトギス			○	○						I B		注1
	ホトトギス				○	○					準絶滅		
	タマガワホトトギス		○				○						
	エンレイソウ	○					○						
	シロバナエンレイソウ		○	○									
アマナ		○			○					I B	希少		
バイケイソウ		○				○							
タカネシュロソウ						○						注1	
ホソバシュロソウ	○												
ヒガンバナ	ヒガンバナ		○										
	キツネノカミソリ		○										
ヤマノイモ	ヤマノイモ	○	○										
	ウチワドコロ	○											
	オニドコロ		○										
ミズアオイ	コナギ			○		○							
アヤメ	ノハナショウブ			○									
	ヒメシャガ	○						準絶滅	指定	II類	希少		
	カキツバタ				○			II類		準絶滅	希少		
	アヤメ		○	○									
イグサ	イグサ			○									
	コウガイゼキショウ			○									
	イトイ					○							
	エゾイトイ					○		I A		I A	希少		
	クサイ			○									
	クモマスズメノヒエ					○		準絶滅			希少		
	ヤマスズメノヒエ		○										
	タカネズズメノヒエ					○							
	ミヤマヌカボシソウ					○							
	ミヤマズズメノヒエ					○				II類			
ツユクサ	ツユクサ			○									
	ヤブミョウガ	○											
ホシクサ	クロイヌノヒゲ				○					準絶滅			
	ホシクサ					○				II類			
	ニッポンイヌノヒゲ					○							
イネ	コヌカグサ					○							
	ヤマヌカボ					○							
	ミヤマヌカボ					○							

表 2.2.4 (20) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
イネ	タテヤマスカボ					○							
	スズメノテッポウ			○		○							
	セトガヤ				○					I B			
	メリケンカルカヤ					○							
	タカネコウボウ					○							
	コブナグサ			○									
	トダシバ			○									
	イワタケソウ					○				II 類			
	ホガエリガヤ					○							
	ヒメノガリヤス			○									
	ホッスガヤ					○							
	タカネノガリヤス					○							
	ミヤマノガリヤス					○							
	フサガヤ	○											
	チョウセンガリヤス	○											
	カモガヤ			○		○							
	メヒシバ		○	○									
	アブラススキ	○											
	イヌビエ			○									
	オヒシバ			○									
	エゾムギ					○							
	シナダレスズメガヤ					○							
	カゼクサ			○									
	ニワホコリ			○									
	オニウシノケグサ					○							
	ミヤマウシノケグサ					○							
	タカネウシノケグサ					○				I B			
	ヤマオオウシノケグサ					○		I A		I A	希少		
	ミヤマドジョウツナギ					○							
	ウラハグサ			○		○							
	コウボウ			○									
	チガヤ			○									
	チゴザサ			○									
	アシカキ				○					準絶滅			
	ササガヤ			○									
	アシボソ			○									
	ススキ		○	○		○							
	コチヂミザサ			○									
	イネ					○							
	チカラシバ			○									
	アワガエリ	○								I A			
	ヨシ			○									
	ツルヨシ		○	○		○							
	ハチク	○											
	コイチゴツナギ	○											
	チョウセンタチチゴツナギ				○					I B		注1	
	タカネタチチゴツナギ					○		I B		I B	希少		
ミヤマイチゴツナギ					○				I B				
オオイチゴツナギ	○												
ヌメリグサ				○					準絶滅				
スズタケ			○										
フォーリーガヤ					○		I B		I B				
ウシクサ	○								I B				
キンエノコロ			○										
エノコログサ		○	○										
ヒゲシバ	○												
リシリカニツリ				○	○		II 類		準絶滅	希少			
キタダケカニツリ					○		I B		I A	希少			
ヤシ	シユロ	○											
サトイモ	ショウブ	○	○			○							

表 2.2.4 (21) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
サトイモ	セキショウ		○	○								
	ヒトツバテンナンショウ	○			○	○				II類	希少	
	ユモトマムシグサ					○						
	ヤマザトマムシグサ					○						注1
	マムシグサ		○									
	ウラシマソウ		○		○				指定	II類		
	スルガテンナンショウ		○	○		○						
	カラスビシャク					○						
ウキクサ	アオウキクサ			○		○						
	ヒンジモ	○						I B		I A	希少	
	ウキクサ			○								
ガマ	ガマ			○								
カヤツリグサ	ヒラギシスゲ	○										
	タカネヤガミスゲ	○				○		準絶滅		準絶滅	希少	
	ショウジョウスゲ	○										
	ミヤマアオスゲ	○										注1
	チャシバスゲ	○									希少	
	ミヤマシラスゲ			○								
	ハクサンスゲ					○						
	ナルコスゲ		○									
	オニスゲ			○								
	ヒナスゲ				○					II類		
	イトキンスゲ					○						
	サナギスゲ	○									希少	
	ヤマアゼスゲ			○							希少	
	カワラスゲ	○										
	ノゲヌカスゲ				○	○				準絶滅		
	ヒメスゲ					○						
	キンスゲ					○						
	コカンスゲ			○								
	カラフトイワスゲ					○			I A		I A	希少
	ゴンダンスゲ				○					準絶滅		
	アブラシバ		○									
	ミヤマアシボソスゲ					○						
	タガネソウ			○		○						
	タカネナルコ					○			I B		I A	希少
	イワスゲ					○						
	クモマシバスゲ					○						
	オノエスゲ	○				○			II類		I B	希少
	クグガヤツリ					○				準絶滅		
	タマガヤツリ			○								
	ヒナガヤツリ			○								
	アゼガヤツリ			○								
	カヤツリグサ		○									
	マツバイ					○						
	クログワイ					○						
	ヒデリコ			○								
	ヒゲハリスゲ					○			II類		II類	希少
	エゾアゼスズ	○										注1
	ヒンジガヤツリ			○								
	ホタルイ					○						
	イヌホタルイ					○						
	ハコネイトスゲ					○					I A	
	ミセンアオスゲ					○					情報	
ラン	エビネ		○					II類		I A	希少	
	ホテイラン	○						I A	特別	I A	希少	
	ギンラン				○	○				準絶滅		
	キンラン				○			II類	特別	I B	希少	
	モイワラン				○					I A		注1

表 2.2.4 (22) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ラン	ササバギンラン					○							
	タカネアオチドリ					○				I A	希少		
	シュンラン		○			○							
	コアツモリソウ					○		II類		I A	希少		
	クマガイソウ	○				○		II類	特別	I A	希少		
	アツモリソウ	○					特定国内	I B	特別	I A	希少		
	イチヨウラン				○	○				準絶滅	希少		
	セッコク	○								I A	希少		
	コイチヨウラン					○							
	エゾスズラン	○											
	カキラン				○					準絶滅			
	ツチアケビ				○					II類			
	ベニシュスラン			○	○					I A	希少		
	ヒメミヤマウズラ	○		○	○	○				準絶滅			
	テガタチドリ	○				○							
	ミズトンボ			○	○			II類		準絶滅	希少		
	フガクスズムシ					○		I B		情報		注1	
	クモキリソウ					○							
	コフタバラン					○						注1	
	アオフタバラン				○	○				II類	希少		
	ミヤマフタバラン				○	○				II類			
	タカネフタバラン					○				I B			
	ホザキイチヨウラン	○									希少		
	アリドオシラン					○					希少		
	ヒメムヨウラン					○		II類		II類	希少		
	ハクサンチドリ					○							
	ウチヨウラン					○		II類		I B	希少		
	ニョホウチドリ					○		I B		I B	希少		
	コケイラン				○	○				II類			
	ミズチドリ			○					指定	II類	希少		
	ツレサギソウ	○			○					I A	希少		
	オオバノトンボソウ				○					準絶滅			
	キソチドリ					○							
	ミヤマチドリ					○				I B			
コバノトンボソウ				○					準絶滅				
カヤラン	○			○	○			指定	I A				
シロモジズリ	○										注1		
ネジバナ		○	○										
クモラン					○				I A				

備考：種名は、植物目録1987（1988年：環境庁自然保護局）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.5 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

出典：N1, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N2, 天龍村の植物（平成4年：天龍村教育委員会）⁴⁵⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物編（平成14年度：長野県）⁴⁷⁾

N5, 南信濃村植物誌「遠山に生きる植物たち」（平成17年：南信濃村教育委員会）⁴⁸⁾

表 2.2.5 注目すべき種及び群落の選定根拠

根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分	
略称	名 称	記号	名 称
国法令	「文化財保護法」(昭和 25 年：法律第 214 号)に基づき指定された植物に係る天然記念物	特天	国指定の特別天然記念物
		国天	国指定の天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年：法律第 75 号)の対象とされた種	特定国内	特定国内希少野生動植物種
		緊急	緊急指定種
国内		国内	国内希少野生動植物種
群 落 RDB	植物群落レッドデータブック (平成 8 年：(財) 日本自然保護協会) に記載されている植物群落	群落	緊急な保護を必要とする植物群落
国 RED	改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー (平成 12 年：環境庁：植物 I、植物 II)	絶滅	絶滅(EX)
		野生	野生絶滅(EW)
		I A	絶滅危惧 I A 類(CR)
		I B	絶滅危惧 I B 類(EN)
		II 類	絶滅危惧 II 類(VU)
		準絶滅	準絶滅危惧(NT)
		情報	情報不足(DD)
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
長野法令	「長野文化財保護条例」(昭和 50 年：長野県)に基づき指定された植物に係る天然記念物	長天	長野県指定の天然記念物
		特別	特別指定希少野生動植物
	指定	指定希少野生動植物	
長 野 RED	長野県版レッドデータブック ～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 維管束植物編 (平成 14 年：長野県)	絶滅	絶滅(EX)
		野生	野生絶滅(EW)
		I A	絶滅危惧 I A 類(CR)
		I B	絶滅危惧 I B 類(EN)
		II 類	絶滅危惧 II 類(VU)
		準絶滅	準絶滅危惧(NT)
		情報	情報不足(DD)
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
その他	学識経験者により指摘された種	希雑	希少な雑種
		希少	希少な種

(2) 動物の生息状況

1) 哺乳類

調査対象地域における哺乳類の主な生息情報を表 2.2.6 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、7 目 16 科 37 種の哺乳類の生息情報があり、このうちアズミトガリネズミ、カワネズミ、トガリネズミ、ミズラモグラ、コキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ウサギコウモリ、ニホンテングコウモリ、ニホンザル、ニホンリス、ホンドモモンガ、ムササビ、ヤマネ、ホンシュウカヤネズミ、ニホンツキノワグマ、オコジョ及びニホンカモシカが注目すべき種に該当します。

標高差が大きい当地域は、高山帯を主な生息場所とするアズミトガリネズミ、オコジョから山地帯に生息するニホンジカ、ジネズミまで多様な種が見られる環境です。

表 2.2.6 調査対象地域における哺乳類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
モグラ目	トガリネズミ科	アズミトガリネズミ	○							準絶滅					準絶滅	
		ジネズミ	○	○												
		カワネズミ	○	○				○							準絶滅	希少
		トガリネズミ科の一種	○													
		トガリネズミ						○							準絶滅	
	モグラ科	ヒメヒミズ	○	○												
		ヒミズ	○	○												
		ミズラモグラ	○	○											注1	希少
		アズマモグラ	○	○												
コウベモグラ		○	○													
コウモリ目	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	○	○											留意	希少
		キクガシラコウモリ	○												留意	希少
	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	○	○				○							準絶滅	希少
		ウサギコウモリ	○												準絶滅	希少
		ニホンテングコウモリ						○							準絶滅	
サル目	オナガザル科	ニホンザル	○	○	○										希少	
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○	○	○											
ネズミ目	リス科	ニホンリス	○	○	○											希少
		ホンドモモンガ	○	○	○			○					長天	準絶滅	希少	
		ムササビ	○	○	○											希少
	ヤマネ科	ヤマネ	○						国天	準絶滅					準絶滅	希少
		ネズミ科	トウホクヤチネズミ	○												
	スミスネズミ		○													
	アカネズミ		○	○												
	ヒメネズミ		○	○												
	ホンシュウカヤネズミ							○								Ⅱ類
ネコ目	クマ科	ニホンツキノワグマ	○	○	○										個体群	
	イヌ科	ホンドタヌキ	○	○	○											
		ホンドキツネ	○	○	○											
	イタチ科	ホンドテン		○	○											
		ニホンイタチ	○	○	○											
		ホンドオコジョ	○	○									長天	準絶滅	希少	
	ニホンアナグマ	○	○	○												
	ジャコウネコ科	ハクビシン	○	○	○											
ウシ目	イノシシ科	ニホンイノシシ	○	○	○											
	シカ科	ニホンジカ	○	○	○											
	ウシ科	ニホンカモシカ	○	○	○				特天							

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：亜種シナノミズラモグラ，長野RED（準絶滅危惧種）

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

2) 鳥類

調査対象地域における鳥類の主な生息情報を表 2.2.7 (1) ~ (2) に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、15 目 39 科 97 種の鳥類の生息情報があり、このうち、オオタカ、クマタカ、ライチョウ、ブッポウソウ、ヤイロチョウ及びサンショウクイ等が注目すべき種に該当します。

深い森に囲まれる当地域では、森林に生息する種が主に見られ、ブッポウソウ、アカシヨウビン、ヤイロチョウなど珍しい種も少なくありません。

一方、河川はいずれも急流で川幅は狭いため、水辺に生息している種は確認されておらず、溪流性のカワガラスが河川に広く分布しており、溪流的な河川であることを示しています。また、標高差が大きいことから、高山帯で繁殖するライチョウ、イワヒバリから人里に生息するスズメ、ハシボソガラスまで多様な種が見られる環境です。

表 2.2.7 (1) 調査対象地域における鳥類

目	科	種名	文献調査						注目根拠								
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他		
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ			○												
コウノトリ目	サギ科	コサギ			○												
		アオサギ			○												
		ミゾゴイ						○								II種	
		チュウサギ						○								準絶滅	
カモ目	カモ科	オシドリ			○											個体群	
		マガモ			○											個体群	
		カルガモ			○												
		コガモ			○												
		カワアイサ			○												
		トモエガモ						○								I B	
タカ目	タカ科	ハチクマ						○							準絶滅	II類	希少
		トビ	○		○												
		オオタカ	○					○	国内	II類						II類	希少
		ハイタカ						○		準絶滅						II類	希少
		ノスリ						○								準絶滅	
		クマタカ	○		○			○	国内	I B				指定	I B	希少	
		イヌワシ						○	国内 国内	I B				特別	I A	希少	
キジ目	ライチョウ科	ライチョウ	○	○					特天 国内	II類				指定	II類	希少	
	キジ科	ヤマドリ		○												希少	
		キジ		○													
チドリ目	チドリ科	イカルチドリ			○			○							準絶滅	希少	
		コチドリ						○							準絶滅		
	シギ科	イソシギ			○												
ハト目	ハト科	キジバト	○		○												
		アオバト	○		○			○								準絶滅	
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	○														
		カッコウ	○														
		ツツドリ	○														
		ホトトギス	○		○												
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	○	○				○							II類	希少	
		オオコノハズク	○												情報	希少	
		アオバズク	○					○							II類	希少	
		フクロウ	○					○							準絶滅	希少	
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	○				○							II類	希少		
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	○														
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	○		○			○							準絶滅	希少	
		アカショウビン	○		○			○							II類	希少	
		カワセミ	○		○												
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	○		○			○		II類			特別	I A	希少		
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ	○		○												
		アカゲラ	○														
		コゲラ	○		○												
ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	○		○			○	国内	I B				長大 指定	I A	希少		
スズメ目	ツバメ科	ツバメ	○		○												
		イワツバメ	○		○												
	セキレイ科	キセキレイ	○		○												
		ハクセキレイ	○		○												
		セグロセキレイ	○		○												
	サンショウクイ科	サンショウクイ			○			○		II類					II類	希少	
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○		○												
	モズ科	モズ	○														
	カワガラス科	カワガラス	○		○												
	ミソサザイ科	ミソサザイ	○														
	イワヒバリ科	イワヒバリ	○		○												
		カヤクグリ	○														
ツグミ科	コマドリ	○															
	コルリ	○															

表 2.2.7 (2) 調査対象地域における鳥類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
スズメ目	ツグミ科	ルリビタキ	○													
		マミジロ	○												準絶滅	
		トラツグミ	○													
		クロツグミ	○													
		アカハラ	○													
		ツグミ	○													
	ウグイス科	ヤブサメ			○											
		ウグイス	○		○											
		メボソムシクイ	○													
		センダイムシクイ	○													
	ヒタキ科	キビタキ	○		○											
		オオルリ	○		○											
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ			○			○							II類	希少
	エナガ科	エナガ	○													
	シジュウカラ科	コガラ	○													
		ヒガラ	○													
		ヤマガラ	○		○											
		シジュウカラ	○		○											
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	○													
	メジロ科	メジロ	○		○											
	ホオジロ科	ホオジロ	○		○											
		カシラダカ	○													
		ミヤマホオジロ	○													希少
		アオジ	○													
	アトリ科	アトリ	○													
		カワラヒワ	○		○											
		マヒワ	○													
		ハギマシコ	○													
		イスカ	○													
		ベニマシコ	○													
ウソ		○														
イカル		○														
ハタオリドリ科	スズメ	○		○												
ムクドリ科	ムクドリ	○		○												
カラス科	カケス	○		○												
	ホシガラス	○														
	ハシボソガラス	○		○												
	ハシブトガラス	○		○												
ハト目	ハト科	ドバト	○													

備考：種名は「日本鳥類目録 改訂第6版」（2000年：日本鳥学会編集）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌—遠山郷に生きる動物たち—（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

3) は虫類

調査対象地域におけるは虫類の主な生息情報を表 2.2.8 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、1 目 4 科 10 種のは虫類の生息情報があり、このうち、タカチホヘビ、シロマダラ、ヒバカリが注目すべき種に該当します。

ヘビを含むトカゲ目のみの生息情報が有ります。

表 2.2.8 調査対象地域におけるは虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他
トカゲ目	トカゲ科	トカゲ			○										
	カナヘビ科	カナヘビ			○										
	ヘビ科	タカチホヘビ	○		○										情報
		シマヘビ	○		○										
		ジムグリ	○		○										
		アオダイショウ			○										
		シロマダラ	○											情報	希少
		ヒバカリ	○											情報	
	ヤマカガシ	○		○											
クサリヘビ科	マムシ	○		○											

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－脊椎動物編」

(平成5年：環境庁編)に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－(平成10年：南信濃村教育委員会)⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史(昭和51年：南信濃村)⁴⁴⁾

N3, 天龍村史(平成12年：天龍村)⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」(昭和51年：環境庁)⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」(昭和56年：環境庁)⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編(平成16年度：長野県)⁵²⁾

4) 両生類

調査対象地域における両生類の主な生息情報を表 2.2.9 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、2 目 6 科 14 種の両生類の生息情報があり、このうち、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アカイシサンショウウオ、アズマヒキガエル、ナガレタゴガエル、トノサマガエル、ツチガエル、モリアオガエル、カジカガエルが注目すべき種に該当します。

確認されている両生類を卵や幼生が過ごす水域をもって区分しますと、当地域の両生類はヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ及びカジカガエルなどの溪流性の種が見られ、また、湧水が随所に見られることから、湧水性のタゴガエルの多い地域でもあります。止水性の種（水田や池で産卵する種）は成体になって森林に生息するアズマヒキガエル、草地に生息するイモリ、アマガエルが見られます。

表 2.2.9 調査対象地域における両生類

目	科	種名	文献調査						注目根拠								
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他		
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	○		○			○							準絶滅	希少	
		ハコネサンショウウオ	○		○											希少	
		アカイシサンショウウオ						○						指定	I A	希少	
	イモリ科	イモリ	○		○												
カエル目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	○		○											希少	
	アマガエル科	アマガエル	○		○												
	アカガエル科	タゴガエル	○		○												
		ナガレタゴガエル	○		○										情報	希少	
		ヤマアカガエル	○		○												
		トノサマガエル	○		○												希少
		ツチガエル			○				○							II 類	
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○		○												
		モリアオガエル	○	○	○			○	○							準絶滅	希少
		カジカガエル	○		○												希少

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動物種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

5) 魚類

調査対象地域における魚類の主な生息情報を表 2.2.10 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、6 目 11 科 26 種の魚類の生息情報があり、このうち、スナヤツメ、ウナギ、カワムツ、シマドジョウ、アカザ、アユ、ヤマトイワナ、ヤマメ、アマゴ、ニッコウイワナ、サツキマス、カジカは注目すべき種に該当します。

アマゴ、ヤマトイワナ、カジカは以前から生息しており、当地域の代表的な種はアマゴで、釣りの対象として現在でも放流が盛んに行われています。

アユ、ウナギは、以前は天然で生息していましたが、現在は放流によって分布を保っているものと考えられます。

表 2.2.10 調査対象地域における魚類

目	科	種名	文献調査						注目根拠									
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他			
ウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ		○											II類	希少		
	ウナギ科	ウナギ	○	○												野生		
コイ目	コイ科	コイ	○	○	○													
		ゲンゴロウブナ	○															
		フナの種類			○													
		ハス	○															
		オイカワ	○	○														
		カワムツ	○														希少	
		アブラハヤ		○														
		ウグイ	○	○	○													
		ハヤの種類			○													
		カマツカ	○	○														
	ドジョウ科	ドジョウ	○															
		シマドジョウ		○												希少		
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ		○														
	アカザ科	アカザ	○	○											II類	準絶滅 希少		
サケ目	キュウリウオ科	ワカサギ	○															
	アユ科	アユ	○	○	○											野生		
	サケ科	ヤマトイワナ	○	○	○			○								準絶滅	希少	
		ヤマメ	○	○	○			○								準絶滅		
		アマゴ	○	○	○											準絶滅	希少	
		ニジマス	○	○														
		ニッコウイワナ						○								準絶滅		
サツキマス						○								準絶滅				
カサゴ目	カジカ科	カジカ	○	○	○				○						準絶滅	希少		
スズキ目	ハゼ科	ヨシノボリの種類	○	○														

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

6) 昆虫類

調査対象地域における昆虫類の生息情報を表 2.2.1 1 (1) ~ (4) に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、12 目 61 科 188 種の昆虫の生息情報があり、このうち 7 目 29 科 55 種の注目すべき種が確認されています。

表 2.2.11 (1) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠					備考				
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令		長野 RED	その他		
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	○															
	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	○															
トンボ目	イトトンボ科	クロイトトンボ	○															
	アオイトトンボ科	ホソミオツネイトンボ	○															
	カワトンボ科	カワトンボ科の一種	○													注1		
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	○													II類		
	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	○														準絶滅	
		ギンヤンマ	○					○									準絶滅	
	オニヤンマ科	オニヤンマ	○															
	トンボ科	シオカラトンボ	○															
シオヤトンボ		○																
オオシオカラトンボ		○																
カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	○													留意		
	ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	○													準絶滅		
	カワゲラ科	カミムラカワゲラ	○															
		トウゴウカワゲラ属の一種	○														注1	
	不明科	カワゲラ目の一種					○										注1	
ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ				○												
カマキリ目	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ				○												
バッタ目	コオロギ科	エンマコオロギ	○															
		ハラオカメコオロギ				○												
		モリオカメコオロギ				○												
		ツツレサセコオロギ				○												
		ナツノツツレサセコオロギ				○											注1	
		エゾスズ	○															
		マダラスズ				○												
		カワラスズ	○			○												
		ヒゲシロスズ				○												
		ハマスズ	○					○									I類 希少	
		シバスズ				○												
		クサヒバリ科	クサヒバリ				○											
			ヤマトヒバリ	○														
	スズムシ科	スズムシ	○			○											個体群	
	カネタタキ科	カネタタキ	○			○												
	カンタン科	カンタン	○			○												
	キリギリス科	ツユムシ				○												
		アシグロツユムシ				○												
		セスジツユムシ				○												
		ムサシツユムシモドキ	○															
		クツワムシ				○												
		コバネヒメギス				○												
		キリギリス	○			○												
		キンキヤブキリ				○												注1
		クサキリ				○												
		ハヤシノウマオイ				○												注1
		バッタ科	クルマバッタ				○											
	カワラバッタ		○															
	アカイシコバネヒナバッタ		○														希少 注1	
ツチイナゴ					○													
テカリダケフキバッタ	○															希少 注1		
カメムシ目	セミ科	ハルゼミ	○															
		チッチゼミ	○														留意	
コウチュウ目	カンムリヨコバイ科	テングオオヨコバイ															情報	
	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	○														準絶滅	
コウチュウ目	オサムシ科	ミカワオサムシ	○			○												
		カケガワオサムシ	○			○												
		テンリュウオサムシ	○			○												
		オオオサムシ	○															

表 2.2.11 (2) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考				
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他			
コウチュウ目	オサムシ科	アオオサムシ			○														
		イナオサムシ			○										注2				
		ヤマトオサムシ	○																
		オオクロナガオサムシ	○																
		クロナガオサムシ	○																
		コクロナガオサムシ	○															注1	
		オオマルクビゴミムシ	○																
		オサムシモドキ	○																
		ムナビロナガゴミムシ	○																
		マスモトナガゴミムシ	○																
		ジュンサイオオナガゴミムシ	○																
		ミヤマナガゴミムシ	○																
		アカイシミヤマナガゴミムシ	○																注1
		リュウトウナガゴミムシ	○					○								II類		注1	
		ノグチアオゴミムシ	○																
		コホソクビゴミムシ	○																
		スルガナガゴミムシ						○											準絶滅
		マスモトオオナガゴミムシ						○											準絶滅
		アシグロツヤゴモクムシ						○											準絶滅
		シデムシ科		ベッコウヒラタシデムシ				○											II類
クワガタムシ科		ツヤハダクワガタ	○																
		マダラクワガタ	○																
		ミヤマクワガタ	○																
		ノコギリクワガタ	○																
		コルリクワガタ	○																
		ルリクワガタ	○				○											準絶滅	
		ヒメオオクワガタ	○															準絶滅	
		アカアシクワガタ	○																
		コクワガタ	○																
		スジクワガタ	○																
		ミヤマツヤハダクワガタ					○											準絶滅	
	センチコガネ科		オオセンチコガネ	○															準絶滅
		センチコガネ	○																
コガネムシ科		ゴホンダイコクコガネ	○															II類	
		ミヤマダイコクコガネ	○															準絶滅	
		マエカドコエンマコガネ	○																
		クロマルエンマコガネ	○																
		コブマルエンマコガネ	○																
		オオチャイロハナムグリ	○					○		準絶滅								I類 希少	
	カブトムシ	○																	
マルトゲムシ科		シナノマルトゲムシ	○																
ダエンマルトゲムシ科		シラホシダエンマルトゲムシ	○																
タマムシ科		アオタマムシ					○											II類	
		アカハリミドリタマムシ					○											I類	
		ヤマトタマムシ					○											II類	
コメツキムシ科		ミヤマヒサゴメツキ	○														情報		
ホタル科		ヒメボタル	○				○										準絶滅		
テントウムシ科		ダイモンテントウ	○														II類		
ハナノミ科		ヤクハナノミ					○										II類		
カミキリムシ科		ベーツヒラタカミキリ			○														
		ニセノコギリカミキリ			○														
		ケプトハナカミキリ			○														
		オトメクビアカハナカミキリ	○															II類	
		ヒゲプトハナカミキリ	○															準絶滅	
		ベーツヤサカミキリ			○														
		キマダラカミキリ			○														
		スネケブカヒロコバネカミキリ			○														
		オオアオカミキリ	○																
		オオトラカミキリ			○													II類	
		フタオビミドリトラカミキリ			○														

表 2.2.11(3) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考	
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他
コウチュウ目	カミキリムシ科	フタホシサビカミキリ			○											
		マツノマダラカミキリ			○											
		オオシロカミキリ			○											
		ラミーカミキリ			○											
		イッシキモンキカミキリ	○													
ハチ目	スズメバチ科	オオスズメバチ			○											
	ミツバチ科	ニホンミツバチ			○											
ハエ目	アミカ科	スカシアミカ	○													
トビケラ目	ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	○							準絶滅			準絶滅			
	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○													
	トビケラ科	ムラサキトビケラ	○													
	フトヒゲトビケラ科	フタスジキソトビケラ	○													
	エグリトビケラ科	クロツツトビケラ	○													
	カクスイトビケラ科	マルツツトビケラ属の一種	○												注1	
	チョウ目	スガ科	メノコクチブサガ	○												
マルハキバガ科		ヤマトマルハキバガ			○											
メイガ科		タカネットガ	○													
		ホソバソトグロキノメイガ	○												注1	
セセリチョウ科		ミヤマチャバネセセリ					○							II類		
		スジグロチャバネセセリ					○		準絶滅				II類	希少		
		キマダラセセリ					○						準絶滅			
		チャマダラセセリ					○		I類				I B	希少		
アゲハチョウ科		ギフチョウ			○		○		II類				準絶滅	希少		
		アオスジアゲハ			○											
シジミチョウ科		ウラキンシジミ	○													
		ヒサマツミドリシジミ			○		○							準絶滅		
		ベニモンカラスシジミ	○		○		○							準絶滅	希少	
		キマダラルリツバメ					○		準絶滅					II類		
		スギタニルリシジミ	○													
		クロツバメシジミ	○						準絶滅					留意	希少	
		ミヤマシジミ						○	II類					準絶滅	希少	
		ウラナミアカシジミ						○						準絶滅		
タテハチョウ科		キリシマミドリシジミ					○							留意		
		ミスジチョウ	○													
	サカハチチョウ	○														
	キタテハ	○														
	シータテハ	○														
	エルタテハ	○														
	キベリタテハ	○														
	クジャクチョウ	○														
	アカタテハ	○														
	ルリタテハ	○														
	スミナガシ	○														
	オオムラサキ	○							準絶滅				留意	希少		
ジャノメチョウ科	ベニヒカゲ	○										長天	留意	希少	注1	
	クモマベニヒカゲ	○										長天	留意	希少	注1	
	ツマジロウラジャノメ	○														
	クロノマチョウ	○		○												
	クロヒカゲモドキ						○							II類		
シャクガ科	シロオビフユシャク	○														
	アヤコバナナミシャク	○														
	チャオビフユエダシャク			○												
ヤマユガ科	ヒメヤマユ	○														
	クロウスタビガ	○														
シャチホコガ科	クシヒゲシャチホコ	○														
ヒトリガ科	キベリチビコケガ			○												
	ヒメキシタヒトリ						○						準絶滅			
ヤガ科	ホッキョクモンヤガ	○														
	アルプスヤガ	○														
	アズサキリガ			○										留意		

表 2.2.11(4) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考	
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他
チョウ目	ヤガ科	ヤマノモンキリガ	○													注1
		テンスジキリガ	○													
		ホシオビキリガ	○													
		ゴマダラキリガ	○													
		アオバハガタヨトウ	○													
		ウスイロキシタバ			○										準絶滅	
		ソトウスベニアツバ			○											
キモンクロアツバ	○															

備考：種名は「日本産昆虫総目録」（1989, 同追加・訂正1990：九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

注2：長野RED, 個体群（交雑地域個体個体群：アオオサムシ×ミカワオサムシ）

出典：N1, 南信濃村動物誌—遠山郷に生きる動物たち—（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

7) 貝類

調査対象地域における貝類の生息情報を表 2.2.1 2 に示します。

文献調査によると、調査対象地域には、3 目 4 科 5 種の貝の生息情報があり、このうちベニゴマオカタニシ、ゴマオカタニシ、コシダカヒメモノアラガイ、ミヤマヒダリマキマイマイ、タワラガイは注目すべき種に該当します。

表 2.2.1 2 調査対象地域における貝類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
オキナエビス目	ゴマオカタニシ科	ベニゴマオカタニシ						○							I 類	
		ゴマオカタニシ						○							II 類	
モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ						○							I 類	
マイマイ目	オナジマイマイ科	ミヤマヒダリマキマイマイ						○							II 類	
	タワラガイ科	タワラガイ						○							準絶滅	

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－無脊椎動物編Ⅲ」（平成10年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.1 3 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）⁵²⁾

表 2.2.13 注目すべき種及び生息地の選定根拠

根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分	
記号	名 称	記号	名 称
国法令	「文化財保護法」(昭和 25 年：法律第 214 号)に基づき指定された動物に係る天然記念物 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年：法律第 75 号)の対象とされた種	特天	国指定の特別天然記念物
		国天	国指定の天然記念物
		特定国内	特定国内希少野生動植物種
		国内	国内希少野生動植物種
		緊急	緊急指定種
		生息	生息地等保護区
国 RED	改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック— <哺乳類> (平成 14 年：環境省)、同<鳥類> (平成 14 年：環境省)、同<爬虫類・両生類> (平成 12 年：環境庁)、同<汽水・淡水魚類> (平成 15 年：環境省)、同<陸・淡水産貝類> (平成 17 年：環境省)の記載種及びレッドデータブックの基礎となる日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト (平成 12 年：環境庁_昆虫類・クモ類・甲殻類等)の選定種	絶滅	絶滅(EX)
		野生	野生絶滅(EW)
		I A	絶滅危惧 I A 類(CR)
		I B	絶滅危惧 I B 類(EN)
		II 類	絶滅危惧 II 類(VU)
		準絶滅	準絶滅危惧(NT)
		情報	情報不足(DD)
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
第 1 回	第 1 回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図」(昭和 51 年：環境庁)に記載されたすぐれた自然・野生生物	○	—
第 2 回	第 2 回自然環境保全基礎調査(昭和 56 年：環境庁)に記載された哺乳類、希少鳥類、両生類・は虫類、淡水魚類、指標昆虫類、特定昆虫類(長野県)	○	—
長野法令	長野県文化財保護条例(昭和 50 年：長野県)に基づき指定された動物に係る天然記念物 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年：長野県条例第 32 号)	長天	長野県指定の天然記念物
		特別指定	特別指定希少野生動植物 指定希少野生動植物
長野 RED	長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編(平成 16 年：長野県)	絶滅	絶滅(EX)
		野生	野生絶滅(EW)
		I A	絶滅危惧 I A 類(CR)
		I B	絶滅危惧 I B 類(EN)
		II 類	絶滅危惧 II 類(VU)
		準絶滅	準絶滅危惧(NT)
		情報	情報不足(DD)
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
その他	学識経験者により指摘された種	留意	留意種
		希少	希少な種

(3) 注目すべき種等

1) 植物

調査区域の注目すべき植物の生育情報は、表 2.2.14 (1)～(6) に示すとおりであり、生育地が明らかなものについてはその生育地を、図 2.2.9 に示します。調査区域には、赤石山脈（南アルプス）の自然植生及び亜高山帯から高山帯の各種群落（現存植生図によれば、調査区域では、コメツガ群落）、熊伏山周辺のスズタケ・ブナ群団、遠山川周辺のアラカシ群落など、多様な植物群落が見られます。

なお、調査区域内には第 4 回自然環境保全基礎調査の「巨樹・巨木林」（平成 9 年：環境庁）はありません。

表 2.2.14 (1) 注目すべき植物

種 類	記号	名 称	出典
すぐれた自然・植物群落	1	アラカシ群落	ア
	2	亜高山帯から高山帯の各種群落	
	3	スズタケ・ブナ群団	
特定植物群落	4	赤石山脈の自然植生	イ、ウ
	5	天竜川の暖帯林	

出典：ア_第 1 回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和 51 年：環境庁）⁵⁰⁾

：イ_第 2 回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和 56 年：環境庁）⁵¹⁾

：ウ_第 3 回自然環境保全基礎調査「長野県 自然環境情報図」（平成元年：環境庁）⁵³⁾

表 2.2.14(2) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	○								情報	希少	
	スギラン	○							I B		希少	
	コスギラン	○				○				情報		
ハナヤスリ	ヒメハナワラビ				○	○			II類	準絶滅	希少	
コケシノブ	チチブホラゴケ	○									希少	
ミズワラビ	イヌイワガネソウ	○								希雑		
	ヤツガタケシノブ					○				I B	希少	
チョウセンシダ	オクタマシダ				○	○				I B		
オシダ	キヨスミヒメワラビ				○	○				II類		
	ヒロハヤブソテツ					○					希少	
	カラフトメンマ					○					希少	
	タニヘゴ			○							希少	
	イナデンダ	○							準絶滅		希少	
	オニイノデ				○						希少	
	ヒメカナワラビ				○	○				I B		
メシダ	ウスバミヤマノコギリシダ				○						希少	
	ノコギリシダ			○						情報		
	イワウサギシダ	○									希少	
ウラボシ	クラガリシダ				○	○			I B	II類	希少	
	ウロコノキシノブ		○	○	○	○			I A	特別	I A	
	クリハラシ			○	○						I A	
	アオネカズラ			○	○						I A	希少
	イワオモダカ	○			○	○					II類	
ヒメウラボシ	○			○	○					準絶滅		
サンショウモ	サンショウモ				○				II類	II類	希少	
マツ	イラモミ				○						準絶滅	
	アズサバラモミ					○					I A	
	ヒメマツハダ					○					II類	
ヤナギ	コマイワヤナギ			○	○				II類	準絶滅	希少	
カバノキ	カワラハンノキ				○					II類		
ブナ	アカガシ			○	○	○				I A		
ニレ	ムクノキ			○	○					I B		
イラクサ	ヒメウワバミソウ				○					II類		
ヤドリギ	マツグミ				○	○					準絶滅	
ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ				○	○			II類		準絶滅	希少
タデ	ハルトラノオ		○		○	○					準絶滅	
	ノダイオウ				○				II類		準絶滅	
ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ	○			○	○				II類		
ナデシコ	タガソデソウ				○				II類		準絶滅	
	ミヤマツメクサ					○						希少
	オオビランジ				○	○			II類		II類	希少
	タカネビランジ				○	○					II類	
	ビランジ				○						I B	
	シコタンハコベ				○	○			II類		準絶滅	希少
マツブサ	サネカズラ		○	○	○					II類		
クスノキ	カゴノキ			○							絶滅	
	ヤブニッケイ				○						I A	
	シロダモ			○							情報	
	シロモジ			○								希少
キンポウゲ	キタダケトリカブト					○			I B			
	キタザワブシ					○			II類		II類	
	ミチノクフクジュソウ				○				II類		準絶滅	
	フクジュソウ				○				II類		準絶滅	希少
	ミスミソウ		○		○	○			準絶滅		I B	希少
	キクザキイチゲ		○									希少
	ツルシロカネソウ	○			○						I A	
	トウゴクサバノオ				○						I B	
ヒメカラマツ				○	○					II類	希少	
メギ	オオバメギ				○					準絶滅		
スイレン	ジュンサイ				○					準絶滅	希少	

表 2.2.14(3) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ				○					II類		
	ウスバサイシン					○					希少	
	ヒメカンアオイ		○	○	○					準絶滅		
ボタン	ヤマシャクヤク	○			○	○			II類	指定	II類	希少
	ベニバナヤマシャクヤク				○				I B	指定	I A	希少
ツバキ	ヒメシャラ				○	○					I A	
オトギリソウ	アカテンオトギリ					○					準絶滅	
ケシ	ナガミノツルキケマン					○			準絶滅		準絶滅	
アブラナ	エゾハタザオ	○				○						希少
	ミツバコンロンソウ					○					I A	
	クモマナズナ				○	○			II類		準絶滅	希少
	ミチバタガラシ					○					情報不足	
マンサク	キリシマミズキ				○				II類		II類	
	コウヤミズキ			○		○						希少
ベンケイソウ	アオベンケイ					○					I B	
	ツメレンゲ	○			○	○			準絶滅		準絶滅	希少
	マルバマンネングサ					○					I A	
ユキノシタ	キバナハナネコノメ			○	○				準絶滅		I A	希少
	ハナネコノメ				○						I A	
	チシマネコノメ	○										希少
	タチネコノメソウ			○	○	○					II類	
	ミカワチャルメルソウ		○	○		○						希少
	ヤシヤビシャク					○			II類		II類	希少
	ムカゴユキノシタ					○					I A	希少
	ジンジソウ		○		○	○					準絶滅	
	クモマグサ					○					I B	
バラ	チョウセンキンミズヒキ				○				II類		準絶滅	
	ハクロバイ					○			II類		I B	
	ウラジロキンバイ	○				○			II類		II類	希少
	リンボク			○	○						I B	
	ミヤマモミジイチゴ				○	○					準絶滅	
	コジキイチゴ	○			○	○					I B	
	タテヤマキンバイ				○	○					準絶滅	
マメ	モメンヅル	○			○						準絶滅	希少
	タヌキマメ				○					指定	I A	
	イヌハギ				○	○			II類		準絶滅	希少
	ミヤマタニワタシ	○			○	○					準絶滅	
	クサフジ					○						希少
カタバミ	オオヤマカタバミ				○	○			II類		準絶滅	
フウロソウ	イヨフウロ	○			○						I A	
	コフウロ	○			○						I B	
トウダイグサ	ニシキソウ				○						II類	
ユズリハ	ユズリハ		○	○	○	○					準絶滅	
ヒメハギ	ヒナノキンチャク				○				I B		I A	希少
カエデ	ハナノキ					○			II類		II類	
ニシキギ	イワウメヅル	○				○						希少
ツゲ	フッキソウ	○										希少
クロウメモドキ	ヨコグラノキ					○					I B	希少
	ミヤマクマヤナギ	○			○	○					準絶滅	
スマレ	ヒメミヤマスマレ					○					I B	
ミソハギ	ヒメミソハギ					○					情報	
	ミズキカシグサ					○			I B		情報	希少
	ミズマツバ					○			II類		II類	希少
アカバナ	トダイアカバナ					○			II類		II類	
	シロウマアカバナ				○						準絶滅	
セリ	イワニンジン					○					I A	
	ドクゼリ			○								希少
	ホソバハナウド	○				○			I B		I B	希少
	オオバチドメ				○						I B	
	ミヤマウイキョウ				○						I A	

表 2.2.14(4) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツツジ	キョウマルシヤクナゲ				○			I B		準絶滅	希少	
	ダイセンミツバツツジ				○					準絶滅		
	アカヤシオ				○	○				準絶滅		
	シロヤシオ	○			○	○				I B		
ヤブコウジ	カラタチバナ				○					I A		
サクラソウ	クリンソウ		○								希少	
	クモイコザクラ					○		II類		I A	希少	
	サクラソウ				○			II類	指定	II類	希少	
	シナノコザクラ				○	○		II類	指定	I B	希少	
リンドウ	トウヤクリンドウ					○					希少	
	コヒナリンドウ				○	○		I B		I A	希少	
	オノエリンドウ				○			I B		準絶滅	希少	
	ホソバツルリンドウ	○			○			I B		準絶滅	希少	
ガガイモ	テングノコヅチ				○	○		I B		準絶滅		
	タチガシワ					○				I A		
	スズサイコ				○			II類		準絶滅	希少	
	コバナカモメヅル				○					I B		
	シロバナカモメヅル				○					II類		
ムラサキ	フタバムグラ				○				I A			
ムラサキ	サワリソウ	○			○	○			準絶滅			
クマツヅラ	カリガネソウ				○				準絶滅	希少		
シン	タチキランソウ		○	○	○	○		準絶滅		準絶滅	希少	
	フトボナギナタコウジュ				○					I B		
	マネキグサ				○			II類		II類	希少	
	ヤマジオウ		○		○	○				I B		
	キセワタ	○			○	○		II類		準絶滅	希少	
	ラショウモンカズラ					○					希少	
	ヤマジソ				○			II類		準絶滅	希少	
	アキチョウジ				○					II類		
	タカクマヒキオコシ				○	○				I B		
	イヌヤマハッカ			○	○					I B		
	ダンドタムラソウ				○					II類		注1
	ナス	アオホオズキ	○				○		II類		I A	希少
ハダカホオズキ						○				II類		
ゴマノハグサ	サワトウガラシ					○				II類		
	アブノメ			○						I A		
	ヒメコゴメグサ					○				I A		
	ウリクサ				○	○				II類		
	ツシマママコナ				○					準絶滅		
	スズメハコベ	○						I B		I A	希少	
	ハンカイシオガマ				○	○				I A		
	イヌノフグリ				○	○		II類		II類	希少	
キツネノマゴ	ハグロソウ				○				II類			
ハマウツボ	オオナンバンギセル				○					I B		
	オニク				○					準絶滅		
	ケヤマウツボ				○					I B		注1
	ヤマウツボ					○				I B		
	キヨスミウツボ					○				I B	希少	
タヌキモ	イヌタヌキモ				○				準絶滅	希少		
スイカズラ	チシマヒョウタンボク					○		II類		I A	希少	
	コゴメヒョウタンボク				○			I B		準絶滅	希少	
	ニッコウヒョウタンボク					○				I B	希少	
	ヤマヒョウタンボク	○									希少	
	キバナウツギ				○					I B		
オミナエシ	ツルカノコソウ		○		○	○			I B			
キキョウ	イワシャジン	○	○	○	○	○				I A	希少	
	シデシャジン		○								希少	
	キキョウ			○	○			II類		準絶滅	希少	
キク	トダイハハコ	○			○	○		II類		準絶滅		
	ハハコヨモギ				○			II類		I B		

表 2.2.14(5) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キク	タカネコンギク				○	○					準絶滅		
	テバコモミジガサ		○	○		○					準絶滅		
	パンジンガンクビソウ				○						I A		注1
	ウラジロカガノアザミ				○						準絶滅		
	ヒダアザミ				○	○				II類	I B		
	ワタムキアザミ		○		○					II類	II類	希少	
	イズハハコ			○						II類	絶滅	希少	
	ワカサハマギク			○						II類			
	アキノハハコグサ				○					I B	準絶滅	希少	
	ノニガナ	○										希少	
	カワラニガナ	○		○		○				II類	II類	希少	
	ムラサキニガナ				○						II類		
	ミヤマヨメナ				○						II類		
	オオニガナ				○					II類	準絶滅		
	シュウブソウ				○						準絶滅		
	ヒメヒゴタイ				○					II類	II類	希少	
	コウリンカ				○					II類	準絶滅	希少	
	タカネコウリンカ				○	○				準絶滅	準絶滅	希少	
	カントウタンポポ					○					I B		
オモダカ	サジオモダカ			○							I A		
	アギナシ			○						準絶滅	I B	希少	
	ウリカワ			○		○					II類		
トチカガミ	ヤナギスブタ				○					準絶滅			
ヒツムシロ	ホソバミズヒキモ				○					準絶滅			
ユリ	ヒメニラ					○						希少	
	シライトソウ				○	○				指定	I A		
	カタクリ			○		○						希少	
	ヤマユリ		○	○	○	○				指定	準絶滅		
	ササユリ			○	○					指定	準絶滅		
	コヤブラン					○					情報		
	イワホトトギス			○	○						I B		注1
	ホトトギス				○	○					準絶滅		
アヤメ	アマナ		○		○						I B	希少	
	ヒメシャガ	○								準絶滅	指定	II類	希少
イグサ	カキツバタ				○					II類	準絶滅	希少	
	エゾイトイ					○				I A	I A	希少	
	クモマスズメノヒエ					○				準絶滅		希少	
ホシクサ	ミヤマズメノヒエ					○					II類		
	クロイヌノヒゲ				○						準絶滅		
イネ	ホシクサ					○					II類		
	セトガヤ				○						I B		
	イワタケソウ					○					II類		
	タカネウシノケグサ					○					I B		
	ヤマオオウシノケグサ					○				I A	I A	希少	
	アシカキ				○						準絶滅		
	アワガエリ	○									I A		
	チョウセンタチチゴツナギ				○						I B		注1
	タカネタチチゴツナギ					○				I B	I B	希少	
	ミヤマチゴツナギ					○					I B		
	ヌメリグサ				○						準絶滅		
	フォーリーガヤ					○				I B	I B		
	ウシクサ	○									I B		
リシリカニツリ				○	○				II類	準絶滅	希少		
キタダケカニツリ					○				I B	I A	希少		
サトイモ	ヒトツバテンナンショウ	○			○	○					II類	希少	
	ウラシマソウ		○		○					指定	II類		
ウキクサ	ヒンジモ	○							I B	I A	希少		
カヤツリグサ	タカネヤガミスゲ	○				○				準絶滅	準絶滅	希少	
	チャシバズゲ	○										希少	
	ヒナスゲ				○						II類		

表 2.2.14 (6) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
カヤツリグサ	サナギスゲ	○									希少	
	ヤマアゼスゲ			○							希少	
	ノゲヌカスゲ				○	○				準絶滅		
	カラフトイワスゲ					○		I A		I A	希少	
	ゴンゲンスゲ				○					準絶滅		
	タカネナルコ					○		I B		I A	希少	
	オノエスゲ	○				○		II類		I B	希少	
	クダガヤツリ					○				準絶滅		
	ヒゲハリスゲ					○		II類		II類	希少	
	ハコネイトスゲ					○				I A		
ミセンアオスゲ					○				情報			
ラン	エビネ		○					II類		I A	希少	
	ホテイラン	○						I A	特別	I A	希少	
	ギンラン				○	○				準絶滅		
	キンラン				○			II類	特別	I B	希少	
	モイワラン				○					I A		注1
	タカネアオチドリ					○				I A	希少	
	コアツモリソウ					○		II類		I A	希少	
	クマガイソウ	○				○		II類	特別	I A	希少	
	アツモリソウ	○					特定国内	I B	特別	I A	希少	
	イチヨウラン				○	○				準絶滅	希少	
	セッコク	○								I A	希少	
	カキラン				○					準絶滅		
	ツチアケビ				○					II類		
	ベニシュスラン			○	○					I A	希少	
	ヒメミヤマウズラ	○		○	○	○				準絶滅		
	ミズトンボ			○	○			II類		準絶滅	希少	
	フガクスズムシ					○		I B		情報		注1
	アオフタバラン				○	○				II類	希少	
	ミヤマフタバラン				○	○				II類		
	タカネフタバラン					○				I B		
	ホザキイチヨウラン	○									希少	
	アリドオシラン					○					希少	
	ヒメムヨウラン					○		II類		II類	希少	
	ウチヨウラン					○		II類		I B	希少	
	ニョホウチドリ					○		I B		I B	希少	
	コケイラン				○	○				II類		
	ミズチドリ			○					指定	II類	希少	
	ツレサギソウ	○			○					I A	希少	
	オオバノトンボソウ				○					準絶滅		
	ミヤマチドリ					○				I B		
	コバノトンボソウ				○					準絶滅		
	カヤラン	○			○	○			指定	I A		
クモラン					○				I A			

備考：種名は、植物目録1987（1988年：環境庁自然保護局）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.5 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

出典：N1, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）⁴⁴⁾

N2, 天龍村の植物（平成4年：天龍村教育委員会）⁴⁵⁾

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）⁴⁶⁾

N4, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物編（平成14年度：長野県）⁴⁷⁾

N5, 南信濃村植物誌「遠山に生きる植物たち」（平成17年：南信濃村教育委員会）⁴⁸⁾

2) 動物

既存文献による調査区域の注目すべき動物の生息情報は、表 2.2.15 (1) ~ (3) に示すとおりであり、生息地が明らかなものについては、その生息地を図 2.2.10 に示します。

動物の主要な生息地として、南アルプスが挙げられます。

表 2.2.15 (1) 注目すべき動物

目	科	種名	文献調査						注目根拠												
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他						
哺乳類	モグラ目	トガリネズミ科	アズミトガリネズミ	○																	
			カワネズミ	○		○			○							準絶滅	希少				
			トガリネズミ						○							準絶滅					
	コウモリ目	モグラ科	ミスラモグラ	○		○											注1	希少			
			キクガシラコウモリ	○		○											留意	希少			
		ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	○		○			○									準絶滅	希少		
			ウサギコウモリ	○														準絶滅	希少		
			ニホンテングコウモリ						○									準絶滅			
	サル目	オナガザル科	ニホンザル	○	○	○												希少			
	ネズミ目	リス科	ニホンリス	○	○	○													希少		
			ホンドモモンガ	○	○	○			○						長天		準絶滅	希少			
			ムササビ	○	○	○													希少		
ヤマネ			○						国天	準絶滅							準絶滅	希少			
ネコ目	ネズミ科	ホンシュウカヤネズミ						○									II類				
	クマ科	ニホンツキノワグマ	○	○	○													個体群			
ウシ目	イタチ科	オコジョ	○	○														準絶滅			
	ウシ科	ニホンカモシカ	○	○	○					特天								長天			
鳥類	コウノトリ目	サギ科	ミゾゴイ						○									II種			
			チュウサギ						○										準絶滅		
	カモ目	カモ科	オシドリ			○													個体群		
			マガモ			○													個体群		
			トモエガモ						○										I B		
	タカ目	タカ科	ハチクマ						○			準絶滅							II類		
			オオタカ	○					○	国内	II類								II類		
			ハイタカ							○		準絶滅								II類	
			ノスリ							○										準絶滅	
			クマタカ	○	○				○	国内	I B					指定		I B	希少		
			イヌワシ						○	国内	I B							特別	I A	希少	
	キジ目	ライチョウ科	ライチョウ	○	○						特天	国内	II類					指定	II類	希少	
キジ科		ヤマドリ			○														希少		
チドリ目	チドリ科	イカルチドリ			○			○											準絶滅		
		コチドリ						○											準絶滅		
ハト目	ハト科	アオバト	○		○			○											準絶滅		
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	○	○				○											II類		
		オオコノハズク	○																情報		
		アオバズク	○						○											II類	
		フクロウ	○						○											準絶滅	
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	○					○											II類		
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	○		○			○												準絶滅	
		アカショウビン	○		○			○												II類	
キツツキ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	○		○			○			II類								特別		
		ヤイロチョウ	○		○			○	国内	I B					長天				指定	I A	
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			○			○			II類									II類	
		ツグミ科	マミジロ	○																準絶滅	
		カササギヒタキ科	サンコウチョウ			○			○												II類
		ホオジロ科	ミヤマホオジロ	○																	希少
トカゲ目	ヘビ科	タカチホヘビ	○		○															情報	
		シロマダラ	○																	情報	
		ヒバカリ	○																	情報	
		ヒダサンショウウオ	○		○			○												準絶滅	
両生類	サンショウウオ目	サンショウウオ科	ハコネサンショウウオ	○		○														希少	
			アカイシサンショウウオ						○												指定
			アサマヒキガエル	○		○															希少
	カエル目	ヒキガエル科	ナガレタゴガエル	○		○															情報
			アカガエル科	トノサマガエル	○		○														
			ツチガエル			○		○												II類	

表 2.2.15 (2) 注目すべき動物

目	科	種名	文献調査						注目根拠										
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他				
両生類	カエル目	アオガエル科	モリアオガエル	○	○	○							○		準絶滅	希少			
			カジカガエル	○	○											準絶滅	希少		
魚類	ウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ		○										II類	希少			
			ウナギ科	ウナギ	○	○										野生			
	コイ目	コイ科	カワムツ	○													希少		
			下ジョウ科	シマドジョウ		○												希少	
	ナマズ目	アカザ科	アカザ	○	○									II類		準絶滅	希少		
	サケ目	アユ科	アユ	○	○	○										野生			
			サケ科	ヤマトイワナ	○	○	○										準絶滅	希少	
				ヤマメ			○										準絶滅		
				アマゴ	○	○	○										準絶滅	希少	
				ニッコウイワナ													準絶滅		
カサゴ目	カジカ科	カジカ	○	○	○											準絶滅	希少		
昆虫類	トンボ目	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	○												II類			
			ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	○												準絶滅		
	カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	○													留意		
			ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	○													留意	
	バッタ目	コオロギ科	ハマスズ	○													I類	希少	
			スズムシ科	スズムシ	○		○											個体群	
			バッタ科	アカイシコバネヒナバッタ	○														希少
	カメムシ目	カンムリヨコバイ科	テングオオヨコバイ	○														留意	
			カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	○											情報			
	コウチュウ目	オサムシ科	イナオサムシ			○												注2	
リュウトウナガゴミムシ			○														II類		
スルガナゴミムシ								○									準絶滅		
マスモトオオナガゴミムシ								○									準絶滅		
アシグロツヤゴモクムシ								○									準絶滅		
シデムシ科			ベッコウヒラタシデムシ						○								II類		
クワガタムシ科			ルリクワガタ	○						○								準絶滅	
			ヒメオオクワガタ	○														準絶滅	
			ミヤマツヤハダクワガタ							○								準絶滅	
センチコガネ科			オオセンチコガネ	○														準絶滅	
コガネムシ科		ゴホンダイコクコガネ	○														II類		
		ミヤマダイコクコガネ	○														準絶滅		
		オオチャイロハナムグリ	○												準絶滅	I類	希少		
タマムシ科		アオタマムシ							○								準絶滅		
		アカヘリミドリタマムシ							○								I類		
コメツクムシ科		ミヤマヒサゴメツク	○															情報	
		ホタル科	ヒメホタル	○														準絶滅	
デントウムシ科		ダイヤモンドウ	○														II類		
ハナノミ科		ヤクハナノミ															II類		
カミキリムシ科		オトメクビアカハナカミキリ	○															II類	
	ヒゲブトハナカミキリ	○															準絶滅		
	オオトラカミキリ			○													II類		
トビケラ目	ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	○											準絶滅		準絶滅			
チョウ目	セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ															II類		
		スジグロチャバネセセリ															II類		
		キマダラセセリ															準絶滅		
		チャマダラセセリ													I類		I B	希少	
		ギフチョウ			○										II類		準絶滅	希少	
	シジミチョウ科	ヒサマツミドリシジミ			○													準絶滅	
		ベニモンカラスシジミ	○		○													準絶滅	
		キマダラルリツバメ																準絶滅	
		クロツバメシジミ	○															準絶滅	
		ミヤマシジミ																II類	

表 2.2.15 (3) 注目すべき動物

	目	科	種名	文献調査						注目根拠							
				N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
昆虫類	チョウ目	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ							○						準絶滅	
			キリシマミドリシジミ							○						留意	
		タテハチョウ科	オオムラサキ	○												準絶滅	
			ジャノメチョウ科	ベニヒカゲ	○											留意	希少
		ヒトリガ科	クモマベニヒカゲ	○												留意	希少
			クロヒカゲモドキ						○							II類	
		ヤガ科	ヒメキンタヒトリ						○							準絶滅	
			アズサキリガ			○										留意	
ウスイロキシタバ	ウスイロキシタバ			○										準絶滅			
	ゴマオカタニシ科	ベニゴマオカタニシ						○						I類			
貝類	オキナエビス目	ゴマオカタニシ科	ゴマオカタニシ					○						II類			
			モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ					○					I類		
マイマイ目	オナジマイマイ科	ミヤマヒダリマキマイマイ						○						II類			
		タワラガイ科	タワラガイ					○						準絶滅			
すぐれた自然・野生動物			南アルプス(注4)				○										

備考：(鳥類・昆虫類・貝類以外)

種名は「日本産野生生物目録—本邦産野生動物植物の種の現状—脊椎動物編」(平成5年：環境庁編)に従いました。

(鳥類)

種名は「日本鳥類目録 改訂第6版」(2000年：日本鳥学会編集)に従いました。

(昆虫類)

種名は「日本産昆虫総目録」(1989, 同追加・訂正1990：九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター)に従いました。

(貝類)

種名は「日本産野生生物目録—本邦産野生動物植物の種の現状—無脊椎動物編Ⅲ」(平成10年：環境庁編)に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：亜種シナノミズラモグラ, 長野RED(準絶滅危惧種)

注2：長野RED, 個体群(交雑地域個体個体群：アオオサムシ×ミカワオサムシ)

注3：「南アルプス」は亜高山帯から高山帯に係る特殊な動物の生息地として選定されています。

出典：N1, 南信濃村動物誌—遠山郷に生きる動物たち—(平成10年：南信濃村教育委員会)⁴⁹⁾

N2, 南信濃村史(昭和51年：南信濃村)⁴⁴⁾

N3, 天龍村史(平成12年：天龍村)⁴⁶⁾

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」(昭和51年：環境庁)⁵⁰⁾

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」(昭和56年：環境庁)⁵¹⁾

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編(平成16年度：長野県)⁵²⁾

5. 景観・文化財の状況

(1) 主要な景観資源

調査区域は、西を伊那山脈、東を赤石山脈（南アルプス）に挟まれ、区域の大半は山地・山林です。また、集落や耕地が、河川沿いの谷底低地に若干形成されています。

主要な景観資源の分布及び概況として、調査区域の主な景観資源を表 2.2.16、図 2.2.11 に示します。

調査区域には断崖、溪谷、滝などの自然景観資源が多数存在します。

表 2.2.16 主要な景観資源

種類	番号	名称	概況
山地景観	1	熊伏山稜線	領家帯の花崗岩、片麻岩からなる山稜
	1	白岩（八重河内）	比高 150m、延長 200m の石灰岩の岩峰
特殊地学景観・節理 ^{注1)}	1	ヒョー越	第3紀層を貫く石英安山岩岩脈
河川景観	1	梶谷溪谷	延長 5km、幅 300m の溪谷
	1	八重河内西山	比高 840m、延長 1,700m の圧砕岩、ホルンヘルスからなる断崖
	1	信玄滝	落差 25m、滝口幅 3m の多段の滝
	2	ヌタ沢大滝	落差 50m、滝口幅 2m の一文字の滝

注1) 節理とは、岩石、特に火成岩や、岩盤に見られるやや規則的な割れ目です。マグマが冷却固結した結果生じたもので、板状・柱状・球状などの種類があります。節理は地質学の分野ではきわめて重要であり、密集した節理群はトンネルなどの掘削に大きく影響します。

出典：第3回自然環境保全基礎調査「長野県 自然環境情報図」（平成元年：環境庁）⁵³⁾

(2) 主要な眺望点

調査区域における主要な眺望点を、表 2.2.17、図 2.2.11 に示します。

表 2.2.17 主要な眺望点

番号	名称	概況
1	青崩峠	長野県側、静岡県側ともに展望が良く、中央構造線が形作った深く雄大な谷筋が望める。標高 1,082m

出典：水と緑と伝承のアドベンチャーワールドみさくぼ（浜松市水産総合事務所観光パンフレット）⁵⁴⁾

(3) 史跡及び文化財等

調査区域には、「文化財保護法」(昭和 25 年：法律第 214 号)、県及び各市村の条例により指定された文化財が存在します。指定状況及び位置を表 2.2.18 (1)、(2)、図 2.2.12 に再掲します。なお、周知の埋蔵文化財包蔵地は、調査区域にはありません。

表 2.2.18 (1) 史跡・名勝・天然記念物の指定状況

所在	指定	種別	番号	名称	指定年月日
飯田市南信濃	国	重要無形民俗文化財	1	遠山の霜月祭(諏訪神社)	S 54.2.3
飯田市南信濃		重要無形民俗文化財	2	遠山の霜月祭(正八幡神社)	
飯田市南信濃		重要無形民俗文化財	3	遠山の霜月祭(遠山天満宮)	
飯田市南信濃	市	有形文化財	1	梁木島番所跡	S 63.6.1
飯田市南信濃		史跡	2	青崩峠	H 11.12.22

出典：長野県文化財目録(平成 15 年：長野県教育委員会)¹¹⁾

：各市村教育委員会資料¹²⁾

表 2.2.18 (2) 地域を定めず指定された文化財

所在	指定	種別	名称	指定年月日
長野県	国	無形民俗文化財	下伊那のかけ踊	H 11.12.3
			正月行事	S 29.11
			年齢階梯制	S 29.11
			中馬制	S 29.11
			長野県下の代表的民家の間取・使い方	S 36.3
			信濃の火鑽習俗	S 52.6.1
飯田市南信濃 下伊那郡天龍村	県	無形民俗文化財	盆行事	S 52.6.1
飯田市南信濃			南信州の柚餅子	H 12.3.15
長野県			遠山郷の二度芋の味噌田楽	H 14.3.14
飯田市南信濃	市	無形民俗文化財	味の文化財 手打ちソバ、焼き餅、御幣餅、スンキ漬、野沢菜漬	S 58.7.13
全国	国	特別天然記念物	此田神楽	H 17.10
		天然記念物	カモシカ	S 30.2.15
			ライチョウ	S 11.12.16
			柴犬	S 50.6.26
長野県	県	天然記念物	ヤマネ	S 40.5.12
			イヌワシ	S 50.2.24
			オオイチモンジ	
			クモツマキチョウ	
			クモマベニヒカゲ	
			コヒオドシ	
			タカネキマダラセセリ	
			タカネヒカゲ	
			ベニヒカゲ	
			ミヤマシロチョウ	
			ミヤマモンキチョウ	
			ヤリガタケシジミ	S 50.11.4
			ホンシュウモモンガ	
ホンドオコジョ				
ブッポウソウ	S 60.7.29			
ヤツガシラ				

出典：長野県文化財目録(平成 15 年：長野県教育委員会)¹¹⁾

：各市村教育委員会資料¹²⁾

6. 触れ合い活動の場の状況

調査区域における主要な野外レクリエーション地（人と自然との触れ合いの活動の場等）を、表 2.2.19、図 2.2.13 に示します。

調査区域には、山間部特有の登山道や遊歩道などがあり、自然と触れ合う環境が広域に存在します。

表 2.2.19 主要な人と自然との触れ合いの活動の場一覧

名称	概況	出典
塩の道	(聞き取り調査結果)	ア
八重河内城跡	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
木村の石碑	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
此田の石碑群	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
小嵐公会堂前石碑	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
島畑	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
木地師墓石「庚申」	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
三十三仏	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
青崩神社	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
青崩峠の石仏	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	
青崩碑	(聞き取り調査結果) (塩の道と一体になった文化財に準ずるもの)	-
農業体験	(聞き取り調査結果)	
小嵐川 (溪流釣り)	(聞き取り調査結果)	イ
遠山の霜月祭 (諏訪神社)	国指定文化財<重要無形民俗文化財> 所在: 飯田市南信濃	
遠山の霜月祭 (正八幡神社)	国指定文化財<重要無形民俗文化財> 所在: 飯田市南信濃	
遠山の霜月祭 (遠山天満宮)	国指定文化財<重要無形民俗文化財> 所在: 飯田市南信濃	ウ
此田神楽	飯田市指定文化財<無形民俗文化財> 所在: 飯田市南信濃	
梁木島番所跡	飯田市指定文化財<有形文化財> 所在: 飯田市南信濃(塩の道と一体となった文化財に準ずるもの)	エ
青崩峠	飯田市指定文化財、<史跡> 所在: 県境	
遊歩道 (青崩峠～ヒョー越) 熊伏山登山道	青崩峠とヒョー越峠を結ぶ遊歩道 小嵐川上流～青崩峠～観音山分岐点～熊伏山の全長 3km 弱、標高差約 700m の登山道	

出典: ア_歴史の道調査報告書XIII ー秋葉街道ー (長野県教育委員会) ⁵⁵⁾

イ_長野県文化財目録 (平成 15 年: 長野県教育委員会) ¹¹⁾

ウ_各市村教育委員会資料 ¹²⁾

エ_熊伏山登山案内図 (南信濃村商工観光課資料) ⁵⁶⁾

7. 大気質・水質等の状況

(1) 大気質

環境基準等の達成状況を監視するために、長野県では、一般環境大気測定局 18 局及び道路周辺大気測定局（自動車排出ガス測定局）7 局及び移動局 2 局において、大気質の測定が行われています。

なお、調査区域には、測定局は配置されていません。

参考に、調査区域に最も近い飯田合同庁舎(飯田市)における測定結果を表 2.2.20 に、測定位置を図 2.2.14 に示します。

各項目とも低濃度で安定しており、飯田合同庁舎における平成 13～17 年度の大気汚染に係る環境基準の達成状況は、平成 15 年度の二酸化硫黄を除き、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質について環境基準を達成しています。光化学オキシダントについては、平成 13 年以降に昼間の 1 時間値が環境基準を超えた日数は増加傾向にあり、平成 17 年度の環境基準超過日数は 84 日あります。

表 2.2.20 大気質の経年変化（飯田合同庁舎）

測定物質	年度	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年
二酸化硫黄		0.005	0.005	0.007	0.004	0.007
浮遊粒子状物質		0.015	0.015	0.013	0.011	0.009
二酸化窒素		0.011	0.013	0.011	0.011	0.010
光化学オキシダント		0.028	0.028	0.029	0.030	0.030

注 1) 二酸化硫黄：年平均値 [単位：ppm]

：浮遊粒子状物質：年平均値 [単位：mg/m³]

：二酸化窒素：年平均値 [単位：ppm]

：光化学オキシダント：昼間の 1 時間値の年平均値 [単位：ppm]

出典：平成 17 年版日本の大気汚染状況（平成 18 年：環境省環境管理局）⁵⁷⁾

：平成 18 年版環境白書（平成 19 年：長野県）³³⁾

(2) 騒音

「平成 18 年度版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、調査区域では、騒音測定は行われていません。

(3) 振動

「平成 18 年版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、調査区域では、振動の調査は行われていません。

(4) 低周波音

「平成 18 年版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、調査区域では、低周波音の調査は行われていません。

(5) 悪臭

「平成 18 年版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、調査区域では、悪臭の測定は行われていません。

(6) 水質

長野県では水質に係る環境基準の達成状況を把握する等の目的で、水質の常時監視が行われています。

調査区域では水質測定は行われていませんが、図 2.2.15 に示す折立橋(遠山川)において水質測定が行われています。

測定結果表 2.2.21 に示します。

平成 16 年度については、pH と大腸菌群数を除いて環境基準を達成しています。

表 2.2.21 折立橋(遠山川)の水質測定結果(平成 17 年度)

測定項目	H17
pH	6.4~7.8
DO(mg/l)	11
BOD(mg/l)	0.5
BOD75%値(mg/l)	<0.5
SS(mg/l)	2
大腸菌群数(MPN/100ml)	1.9×10^2

出典：平成 17 年度水質測定結果(平成 19 年：長野県 生活環境部 水環境課) ⁵⁸⁾

(7) 地下水の水質

長野県では、毎年任意に選んだ井戸について地下水の水質測定が行われ、また、既に汚染の判明している地点については継続的な地下水質の調査を実施しています。調査区域には、地下水質の継続調査が行われている井戸はありません。

(8) 土壌汚染

「平成 18 年版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、調査対象地域には過去に土壌汚染が問題化したような土地、施設はありません。

「公害紛争処理法に基づく公害苦情調査(長野県公害課まとめ)」によると、調査対象地域には土壌汚染に対する苦情がなく、土壌汚染が問題化するような鉱山等の跡地等、自然起因の重金属汚染の発生源はありません。

なお、聞き取り調査において青崩峠付近にニッケル鉱山跡地があるとの情報を得ましたが、鉱体の位置は実施区域の対岸であり、実施区域はニッケル鉱山跡地の鉱体を通過しません(図 2.2.5 を参照)。

(9) 地盤沈下

「平成 18 年版環境白書」(平成 19 年：長野県)によると、長野県内では諏訪湖周辺で地盤沈下現象による被害が発生し、調査を行っていますが、それ以外の地域での調査は行っておらず、また、被害等の発生もありません。

文献又は資料

- 1)飯田市ホームページ
- 2)平成7年国勢調査編集・解説シリーズNo.2 都道府県の人口 その20 長野県の人口
(平成9年：総務庁統計局)
- 3)平成12年国勢調査編集・解説シリーズNo.2 都道府県の人口 その20 長野県の人口
(平成15年：総務省統計局)
- 4)長野県ホームページ
(<http://www.pref.nagano.jp/doboku/douken/g-gaiyo/h19gaiyo.htm>)
- 5)平成7年国勢調査報告 第3巻 その2 都道府県・市区町村編 20 長野県
(平成9年：総務庁統計局)
- 6)平成12年国勢調査報告 第3巻 その2 都道府県・市区町村編 20 長野県
(平成14年：総務省統計局)
- 7)平成16年長野県統計書 (平成19年：長野県企画局情報政策課)
- 8)平成17年度道路交通センサス報告書 (平成19年3月：国土交通省 中部地方整備局)
- 9)平成18年版 ながの県勢要覧 (平成19年：長野県企画局情報政策課)
- 10)平成17年度 長野県の水道 (平成19年3月：長野県水道協議会)
- 11)長野県文化財目録 (平成15年：長野県教育委員会)
- 12)各市村教育委員会資料
- 13)大気の汚染に係る環境基準について (昭和48年5月8日：環境庁告示第25号)
- 14)二酸化窒素に係る環境基準について (昭和53年7月11日：環境庁告示第38号)
- 15)ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について (平成9年2月4日：環境
庁告示第4号)
- 16)「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁及び土壌の汚染に係る環境基準
について」(平成11年12月27日：環境庁告示第68号)
- 17)水質汚濁に係る環境基準について (昭和46年12月28日：環境庁告示第59号)
- 18)地下水の水質汚濁に係る環境基準について (平成9年3月13日：環境庁告示第10
号)
- 19)環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令に基づく水質汚濁に
係る環境基準の指定 (平成10年2月5日：長野県告示第60号)
- 20)土壌の汚染に係る環境基準について (平成3年8月23日：環境庁告示第46号)
- 21)騒音に係る環境基準について (平成10年9月30日：環境庁告示第64号)
- 22)騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を
定める省令 (平成12年3月2日：総理府令第15号)
- 23)特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 (昭和43年11月27日：
厚生省、建設省告示第1号)
- 24)長野県告示第97号 (昭和50年2月27日：長野県)
- 25)道路交通振動に係る要請限度 (昭和51年11月10日：総理府令第58号)
- 26)長野県告示第683号 (昭和52年12月26日：長野県)
- 27)振動規制法施行規則 (昭和51年11月10日：総理府令第58号)
- 28)排水基準を定める省令 (昭和46年6月21日：総理府令第35号)

- 29)公害の防止に関する条例（昭和48年：長野県）
- 30)ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年：総理府令第67号）
- 31)悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準を指定（昭和50年：長野県告示第114号）
- 32)悪臭防止法第4条第2項の規定による臭気指数規制の基準等（平成9年：長野県環境審議会答申）
- 33)平成18年版環境白書（平成19年：長野県）
- 34)長野県景観条例（平成4年：長野県条例第22号）
- 35)長野県廃棄物処理計画の概要（長野県生活環境部廃棄物対策課）
- 36)日本地誌第11巻長野県・山梨県・静岡県（日本地誌研究所：平成2年）
- 37)アメダス再統計値2001～2004年(CD-ROM)（平成17年：気象庁）
- 38)河川調書（平成11年：長野県）
- 39)土地分類図（地形分類図 長野県）（昭和49年：国土庁）
- 40)土地分類図（表層地質図 長野県）（昭和49年：国土庁）
- 41)第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図長野県」（昭和51年：環境庁）
- 42)日本の地形レッドデータブック第2集 ー保存すべき地形ー（平成14年：日本の地形レッドデータブック作成委員会）
- 43)土地分類図（土壌図 長野県）（昭和49年国土庁）
- 44)南信濃村史（昭和51年：南信濃村）
- 45)天龍村の植物（平成4年：天龍村教育委員会）
- 46)天龍村史（平成12年：天龍村）
- 47)長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物編（平成14年度：長野県）
- 48)南信濃村植物誌「遠山に生きる植物たち」（平成17年：南信濃村教育委員会）
- 49)南信濃村動物誌ー遠山郷に生きる動物たちー（平成10年：南信濃村教育委員会）
- 50)第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）
- 51)第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）
- 52)長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）
- 53)第3回自然環境保全基礎調査「長野県 自然環境情報図」（平成元年：環境庁）
- 54)水と緑と伝承のアドベンチャーワールドみさくぼ（浜松市水産総合事務所観光パンフレット）
- 55)歴史の道調査報告書XⅢ ー秋葉街道ー （長野県教育委員会）
- 56)熊伏山登山案内図（南信濃村商工観光課資料）
- 57)平成17年版日本の大気汚染状況（平成18年：環境省環境管理局）
- 58)平成17年度水質測定結果（平成18年：長野県生活環境部水環境課）